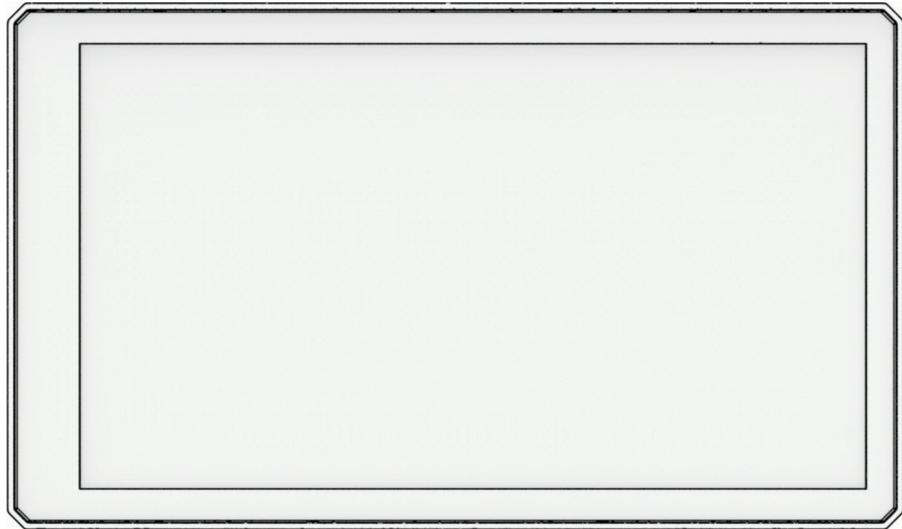


GARMIN®



ZŪMO® XT2

操作マニュアル

© 2023 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®、Garmin ロゴ、zūmo®、inReach®、TracBack®、および Tread®は、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。BaseCamp™、Garmin Adventurous Routing™、Garmin Drive™、Garmin Explore™、Garmin Express™、Garmin PowerSwitch™、および myTrends™ は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Android™は Google LLC の商標です。Apple®および Mac®は、米国およびその他の国における Apple Inc.の商標です。BLUETOOTH®ワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、Garmin 社はライセンスに基づきこの名前を使用しています。Michelin®は、Michelin Travel Partner の登録商標です。microSD®および microSD ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。Tripadvisor®は TripAdvisor LLC の登録商標です。Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Wi-Fi®は Wi-Fi Alliance の登録商標です。その他の商標および商標名はそれぞれの所有者の所有物です。

目次

はじめに	1
デバイスの概要	1
デバイスの電源をオンまたはオフにする	1
タッチスクリーンをロックおよびロック解除する	2
GPS 信号を捕捉する	2
ステータスバーアイコン	2
オンスクリーンボタンを使用する	3
音量を調整する	3
オーディオミキサーを使用する	3
画面の輝度を調整する	3
キーボードの変更	3
取り付け	4
自動二輪へのデバイスの取り付け	4
電源付きモーターサイクルマウント	4
ハンドルバーベースの取り付け	5
ハンドルバーベースにベースプレートを取り付ける	6
デバイスをモーターサイクルマウントに取り付ける	7
デバイスを自動二輪マウントから取り外す	7
運転者への注意喚起の機能とアラート	7
運転者アラートを有効または無効にする	8
赤信号カメラとスピードカメラ	8
事故検出と通知	8
緊急連絡先を設定する	9
事故通知のキャンセル	9
事故通知の無効化	9
inReach リモート	9
inReach デバイスの接続	9
inReach メッセージの送信	10
SOS 救助の開始	10
SOS 救助のキャンセル	10
ヘルメット着用に関する通知文の表示	10
ヘルメットに関する法律を検索する	10
目的地へのナビゲーション	11

ルート	11
ナビゲーションを開始する	11
Garmin Adventurous Routing™を使用したルートの選択	11
ルート探索方法を変更する	11
地図を使用してナビゲーションを開始する	12
帰宅する	12
地図上のルート	12
アクティブ車線案内	13
方向転換と方向指示を表示する	13
地図にルート全体を表示する	13
目的地に到着する	14
目的地の近くの駐車場	14
ライド概要	14
アクティブルートを変更する	14
ルートに場所を追加する	14
アドベンチャールートのレベルを変更する	14
ルートを形成する	15
迂回路を検索する	15
ナビゲーションを停止する	15
遅延、有料道路、およびエリアを回避する	15
ルート上の交通遅延を回避する	15
有料道路を回避する	15
道路の回避機能	15
カスマム回避	15
直行ルートをナビゲーションする	16
燃料の記録	16
燃料計を有効にする	17
ガソリン残量アラームの設定	17
燃料タンクの燃費をリセットする	17
燃料給油案内を有効にする	17
位置の検索と保存を行う	17
検索バーを使用して位置を検索する	18
ジャンル別施設	18
カテゴリーを入力して位置を検索する	18
場所内のジャンル別施設にナビゲーションする	18
Garmin Explore™ ウェイポイントの表示	19
Garmin Explore アカウントデータの同期	19
場所検索の結果	19
地図上の場所検索結果	20

検索エリアを変更する	21	地図をカスタマイズする	27
駐車場	21	地図レイヤーをカスタマイズする ...	27
現在の場所近くの駐車場を検索する	21	地図データフィールドを変更する ...	27
指定した場所近くの駐車場を検索する	21	地図アイコンを変更する	28
検索ツール	21	地図表示方法を変更する	28
住所を検索する	21		
交差点を検索する	21		
座標を使用して位置を検索する	22		
Tripadvisor®	22		
Tripadvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する	22		
人気スポット	22		
最近検索した位置を表示する	22		
最近検索した場所のリストを消去する	22		
現在地情報を表示する	22		
緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する	23		
現在地への道順を表示する	23		
ショートカットを追加する	23		
ショートカットを削除する	23		
位置を保存する	23		
位置を保存する	23	[トラフィック]	31
地図を使用して位置を保存する	24	スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する	32
現在地を保存する	24	地図上に交通渋滞情報を表示する	32
保存した位置を編集する	24	交通事故情報を検索する	32
保存した位置を削除する	24		
地図を使用する	25	アプリケーションを使用する	32
地図ツール	25	グループライド	32
地図ツールを表示する	25	グループライドを開始する	32
この先	25	グループライドへの参加	33
この先の場所を表示する	26	最近のグループライドに再参加する	33
[この先] カテゴリーをカスタマイズする	26	無線グループライドに運転者を追加する	33
次の都市まで	26	メッセージの配信	33
この先の都市や出入口サービスの表示	26	位置情報の配信	33
トリップ情報	26	グループライド通知の表示	34
地図からトリップデータを表示する	26	グループライドの終了	34
トリップ情報ページを表示する	26	グループライド設定	34
トリップ情報をリセットする	27	ラジオ	34
進行方向の交通事故を表示する	27	プリセットの選択	34
地図上に交通渋滞情報を表示する	27	無線チャンネルを選択する	34
交通事故情報を検索する	27	スケルチの調整	35

無線機をオフにする	35	道路状況を確認する	44
ヘッドセットでプッシュツートークを有効にする	35	往復のルートを作成する	45
音声の送信	35	前のルートと目的地を表示する	45
無線の音量の調整	35	設定	45
無線機の設定	36	Bluetooth 設定	45
Garmin PowerSwitch™ アプリ	36	電話設定	45
電源スイッチの有効化	37	ヘッドセット設定	46
すべてのスイッチをオフにする	37	Wi-Fi 設定	46
ボタンのカスタマイズ	37	地図表示設定	46
スイッチを制御入力へ割り当てる	37	地図を有効にする	46
カスタムレイアウトの追加	37	ナビゲーション設定	46
ルーチン	38	トラフィック設定	47
Great Ride	39	シミュレートされた場所を設定する	47
ライドをブックマークする	39	運転者支援の設定	47
Great Ride を同期する	40	ディスプレイ設定	47
ブックマークされたライドのナビゲーション	40	システム設定	48
Great Ride 地図レイヤーを有効または無効にする	40	時間を設定する	48
デバイスのマニュアルの表示	40	デバイスおよびプライバシー設定	48
ミュージックプレイヤー	40	設定を初期化する	48
マップにミュージックプレイヤーツールを追加する	40		
メディアソースを変更する	41		
BirdsEye ダイレクト衛星イメージ	41		
BirdsEye ダイレクト衛星イメージをダウンロードする	41		
ルートプランナー	41	デバイス情報	48
ルートを計画する	42	E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示	48
ルートの場所を編集および並べ替える	42	仕様	49
ルートのルートオプションを変更する	42	デバイスを充電する	49
アクティブルートを保存する	42		
保存したルートまでナビゲーションする	42		
ルートを共有する	43	デバイスのメンテナンス	49
トラック	43	Garmin サポートセンター	49
トラックの記録	43	地図やソフトウェアの更新	49
TracBack®	43	Wi-Fi ネットワークへの接続	50
最近のトラックを辿る	43	Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新	50
最近のトラックをルートとして保存する	43	製品の更新	50
天気予報を表示する	44	デバイスのお手入れ	52
別の都市周辺の天気を表示する	44	外側ケースのクリーニング	52
気象観測レーダーを表示する	44	タッチスクリーンのクリーニング	52
気象警報を表示する	44	デバイスを再起動する	52

ヒューズケーブルのヒューズを交換する	53	コンピュータからデータを転送する	63
トラブルシューティング 53		USB ケーブルを取り外す	64
デバイスで衛星信号を受信できない ...	53	Garmin Explore への BaseCamp™ データの追加	64
充電しても電池の電力が長持ちしない	53	GPS 信号ステータスを表示する	64
デバイスから緊急連絡先に連絡できません	53	追加の地図を購入する	65
デバイスがスマートフォンに接続されません	54		
吸盤がフロントガラスに取り付けられない	54		
使用しているデバイスは、コンピュータのポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、ボリュームのいずれとしても表示されません	54		
付録 55			
自動車にデバイスを取り付ける	55		
Garmin PowerSwitch	55		
取り付けに関する注意事項	55		
デバイスの取り付け	56		
前面カバーを開く	57		
アクセサリーの接続	58		
制御入力の接続	59		
デバイスを車両電源に接続する	59		
Garmin ナビゲーションデバイスとのペアリング	60		
Garmin PowerSwitch 仕様	60		
自分の Garmin PowerSwitch が接続したままになりません	60		
アクセサリに電力が供給されていません	61		
ワイヤレスカメラ	61		
カメラと Garmin ナビゲーションデバイスをペアリングする	61		
BC™ 50 カメラと Garmin ナビゲーションデバイスのペアリング	61		
ワイヤレスカメラの表示	62		
地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する	63		
データ管理	63		
メモリーカードについて	63		
デバイスをコンピュータに接続する	63		
コンピュータから GPX ファイルを転送する	63		

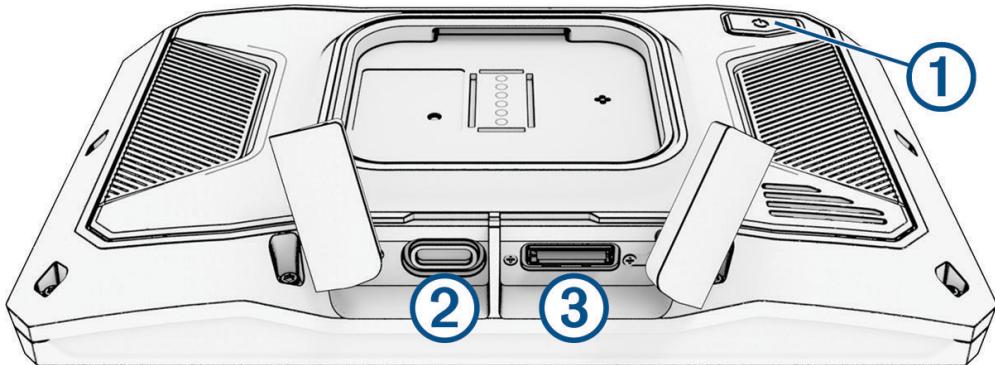
はじめに

△ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

- 1 Wi-Fi®ネットワーク (Wi-Fi ネットワークへの接続, 50 ページ)に接続します (オプション)。
- 2 Bluetooth®スマートフォンとヘッドセットをペアリングします (スマートフォンとペアリングする, 28 ページ) (オプション)。
- 3 デバイスの地図とソフトウェアを更新します (製品の更新, 50 ページ)。
- 4 GPS 信号を捕捉します (GPS 信号を捕捉する, 2 ページ)。
- 5 デバイスを取り付けて、電源に接続します (取り付け, 4 ページ)。
- 6 画面の輝度を調整します (画面の輝度を調整する, 3 ページ)。
- 7 目的地までナビゲーションします (ナビゲーションを開始する, 11 ページ)。

デバイスの概要



①	電源キー
②	USB 電源およびデータポート
③	microSD®メモリカードスロット

デバイスの電源をオンまたはオフにする

- ・ デバイスの電源をオンにするには、電源ボタンを押すか、デバイスを電源に接続します。
- ・ デバイスを省電力モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源ボタンを押します。省電力モードになっている間は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。
ヒント：バッテリーを充電している間にデバイスを省電力モードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。
- ・ デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源ボタンを押し続け、電源オフを選択します。
5秒後にメッセージが表示されます。メッセージが表示される前に電源ボタンを離すと、デバイスは省電力モードに移行します。

タッチスクリーンをロックおよびロック解除する

タッチスクリーンをロックして、ライド中の不要な操作を防止できます。降雨時など、タッチスクリーンが反応する可能性がある状況で役立つ機能です。

- タッチスクリーンをロックするには、画面にスクリーンロックのメッセージが表示されるまで電源ボタンを長押しし、タッチスクリーンロックを選択します。
5秒後にメッセージが表示されます。メッセージが表示される前に電源ボタンを離すと、デバイスは節電モードに切り替わります。
- タッチスクリーンのロックを解除するには、電源ボタンを押します。

GPS 信号を捕捉する

ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからどのくらい経っているかなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

- デバイスの電源をオンにします。
- デバイスが衛星の位置を受信するまで待ちます。
- 必要に応じて、高層ビルや樹木から離れた、上空の開けた場所に移動します。

ステータスバーの は衛星信号の強度を表しています。バーが少なくとも半分あれば、ナビゲーションする準備ができます。

ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。アイコンを選択すると、設定変更や詳細情報の表示ができます。

	GPS 信号ステータス GPS の精度と受信した衛星情報を表示し続けます (GPS 信号ステータスを表示する, 64 ページ)。
	Bluetooth テクノロジのステータス Bluetooth の設定を表示するときに選択します (Bluetooth 設定, 45 ページ)。
	Wi-fi 信号強度 Wi-fi 設定を変更するときに選択します (Wi-Fi 設定, 46 ページ)。
	ハンズフリー通話に接続済み 電話をかけるときに選択します (ハンズフリー通話, 30 ページ)。
	現在の時刻 時刻を設定するときに選択します (時間を設定する, 48 ページ)。
	バッテリー充電レベル
	Tread® アプリの接続ステータス (スマートフォンとペアリングする, 28 ページ)。
	温度 天気予報を表示するときに選択します (天気予報を表示する, 44 ページ)。
	燃料の状態 燃料計の情報を表示するときに選択します (燃料の記録, 16 ページ)。

オンスクリーンボタンを使用する

オンスクリーンボタンを使用して、デバイス上のページ、メニュー、メニューオプションを操作できます。

- ・ < を選択すると、前のメニュー画面に戻ります。
- ・ < を押し続けるとすばやくメインメニューに戻ることができます。
- ・ ▲ または ▼ を選択すると、リストやメニューをスクロールします。
- ・ ▲ または ▼ を押し続けるとスクロール速度が速くなります。
- ・ ≡ を選択すると、現在の画面に対応するオプションのコンテキストベースのメニューが表示されます。

音量を調整する

- 1 喇叭を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ スライダーバーを使用して、音量を調整します。
 - ・ デバイスをミュート（消音）にするには、🔇 を選択します。
 - ・ チェックボックスを選択して、詳細なサウンドオプションを有効または無効にします。

オーディオミキサーを使用する

オーディオミキサーを使用して、ナビゲーションプロンプトや通話など、さまざまなタイプの音に対して音量レベルを設定できます。各タイプの音のレベルは、マスター音量に対するパーセンテージとなります。

- 1 喇叭を選択します。
- 2 オーディオミキサーを選択します。
- 3 スライダーを使用して、各タイプの音量を調節します。

画面の輝度を調整する

- 1 ⚙>ディスプレイ>輝度の順に選択します。
- 2 スライダーバーを使用して、輝度を調整します。

キーボードの変更

キーボードの言語またはレイアウトを変更する前に、システム設定でキーボードの言語またはレイアウトを有効にする必要があります（[システム設定](#), 48 ページ）。

- ・ 別のキーボード言語またはレイアウトに切り替えるには、🌐を選択します。
- ・ >または<を選択すると、さらに文字が表示されます。

取り付け

自動二輪へのデバイスの取り付け

電源付きモーターサイクルマウント

⚠️ 警告

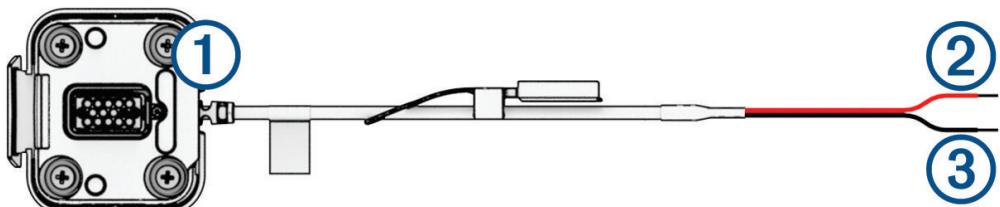
製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

Garmin® 装置の設置は、電気機器に関する適切な知識を持った、経験豊富な技術者が行うことを強くお勧めします。電源ケーブルの配線を誤ると、車両やバッテリーを破損し、怪我の原因になる可能性があります。

注記

デバイスや自動二輪マウントを分解しないでください。分解すると、デバイスやマウントが損傷する可能性があります。

デバイスは、利用可能な電源と安全なケーブル配線に基づいて、自動二輪の適切で安全な場所に取り付ける必要があります。



① 自動二輪マウントコネクタ

② DC 10 ~ 30 V システム電源（赤）

③ システムグラウンド（黒）

注：追加部品がデバイスに含まれているため、幅広い設置や配線が可能になっています。これらの部品を自動二輪で使用する方法については、経験豊富な取り付け業者にお問い合わせください。

圧着式リング端子: ワイヤーハーネスをバッテリー端子に直接接続します。

ケーブルタイ: ケーブルを自動二輪のフレームに固定します。

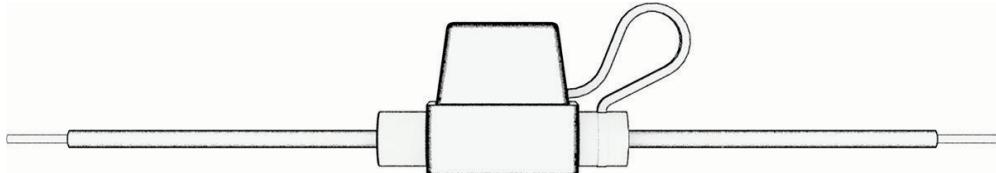
インラインヒューズケーブル: ナビゲーションデバイスを過度の電流から保護します ([インラインヒューズケーブル, 5 ページ](#))。

インラインヒューズケーブル

⚠️ 警告

Garmin は、電気機器に関する適切な知識を備えた経験豊富な技術者を使用してインラインヒューズケーブルを取り付けることを強くお勧めします。電源ケーブルまたはインラインヒューズケーブルの配線を誤ると、車両やバッテリーを破損し、怪我の原因になる可能性があります。

多くの場合、zūmo ナビゲーターを過度の電流から保護するために、付属のインラインヒューズケーブルをデバイスの電源ケーブルに取り付ける必要があります。



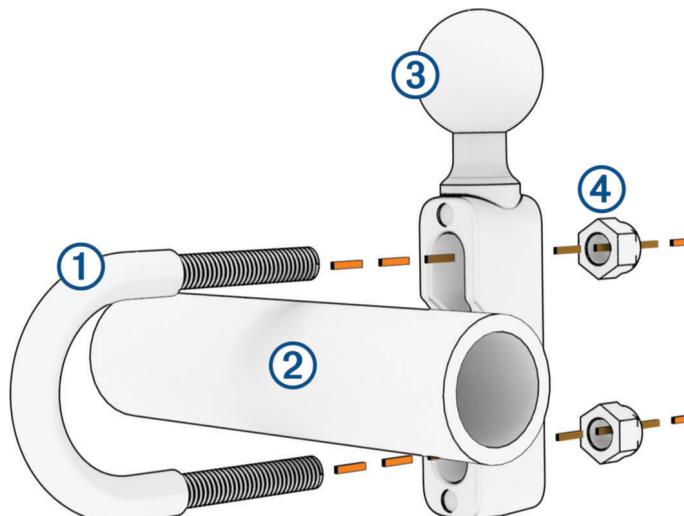
- 電源ケーブルを車両のバッテリーに直接接続する場合は、付属のインラインヒューズケーブルを取り付ける必要があります。
- 電源ケーブルを、適切なヒューズまたは保護回路がすでに取り付けられているアクセサリー電源またはバスバーに接続する場合は、付属のインラインヒューズを取り付ける必要はありません。
- ヒューズケーブルを取り付けるときは、はんだと熱収縮チューブを使用して、赤いシステム電源ケーブルに接続する必要があります。

ハンドルバーの取り付け

デバイスには、2つのハンドルバーの取り付けソリューションのための部品が含まれています。カスタムマウントには、追加のハードウェアが必要です。

U字形ボルトとハンドルバーの取り付け

- U字形ボルト①をハンドルバー②の周囲に置き、端をハンドルバーベース③に通します。

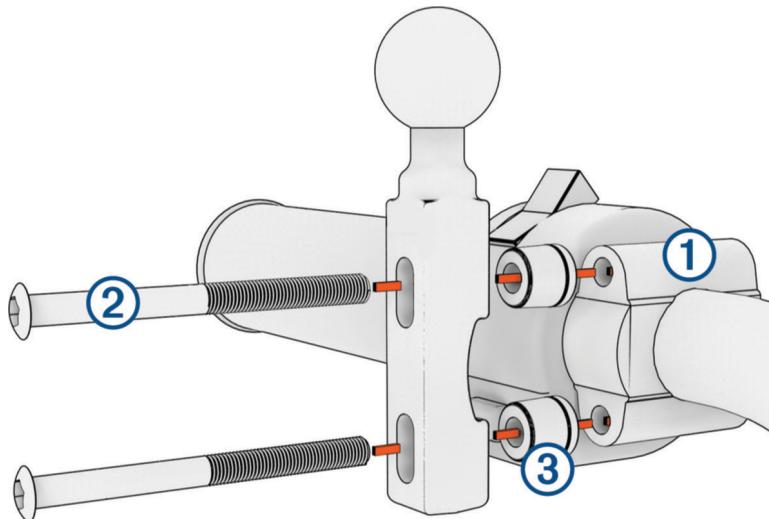


- ナット④を締め、ベースを固定します。

注：推奨トルクは 50 lbf-in (5.65 N·m) です。トルクが 9.04 N·m (80 lbf-in) を超えないようにしてください。

ハンドルバーベースのクラッチクランプまたはブレーキクランププラケットへの取り付け

- 1 クラッチクランプまたはブレーキクランププラケット①の工場で取り付けられた 2 本のボルトを取り外します。

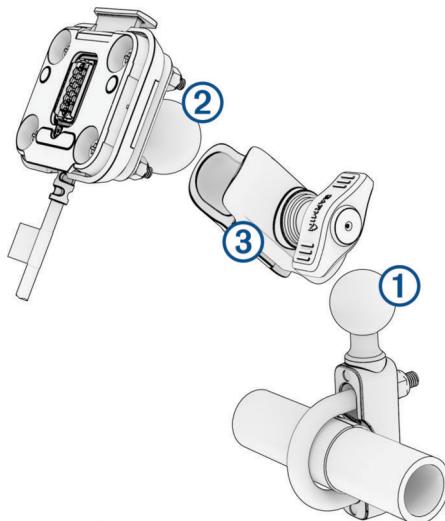


注： $\frac{1}{4}$ in.標準ボルトと M6 ボルトの両方が付属しています。クラッチクランプまたはブレーキクランププラケットの工場で取り付けられた 2 本のボルトのサイズを合わせます。

- 2 新しいボルト②を、ハンドルバーベース、スペーサー③、およびクラッチクランプまたはブレーキクランププラケットに通します。
- 3 ボルトを締め、ハンドルバーベースを固定します。

ハンドルバーベースにベースプレートを取り付ける

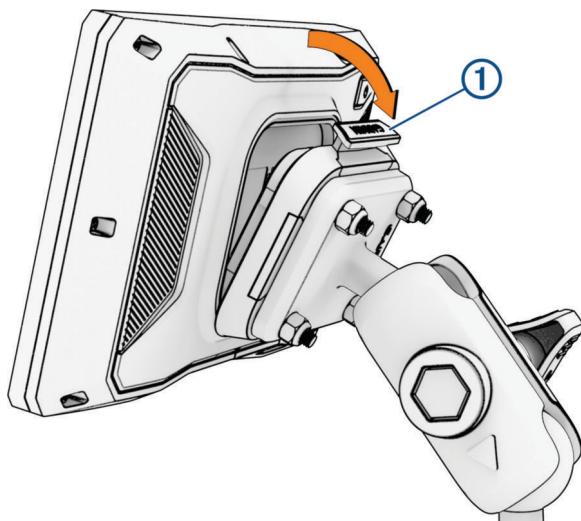
- 1 ハンドルバーベース①のボールとベースプレート②のボールの位置をダブルソケットアーム③のそれぞれの端で合わせます。



- 2 ハンドルバーベース①のボールとベースプレート②のボールをダブルソケットアーム③に挿入します。
- 3 ノブをわずかに締めます。
- 4 最も見やすく、操作しやすいように調整します。
- 5 ノブを締め、マウントを固定します。

デバイスをモーターサイクルマウントに取り付ける

1 デバイスの底面をクレードルに合わせます。



2 デバイスの上側を、所定の位置に固定されるまで押し込みます。

デバイスを挿入した後、マウントのラッチ①は上がったままになります。

デバイスを自動二輪マウントから取り外す

1 マウントの上面にあるラッチを押します。

2 デバイスを持ち上げて外します。

運転者への注意喚起の機能とアラート

△ 注意

運転者アラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garmin は、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受けける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、より安全な運転に役立つ機能を備えており、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも役立ちます。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。ユーザーは、アラートの種類ごとに通知音または音声メッセージを有効または無効にすることができます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

スクールゾーンまたは近くに学校: デバイスは通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンまでの距離と制限速度（利用可能な場合）を表示します。

制限速度低下: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度低下を表示するため、速度を下げる準備を整えることができます。

スピード超過アラート: 現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、デバイスは速度制限アイコンに赤枠を表示します。

踏切: デバイスは通知音を再生し、この先の踏切までの距離を表示します。

動物出没: デバイスは通知音を再生し、この先の動物出没区域までの距離を表示します。

カーブ: デバイスは通知音を再生し、道路のカーブまでの距離を表示します。

渋滞: 渋滞に、より速い速度で近づくと、デバイスは通知音を再生し、渋滞までの距離を表示します。この機能を使用するには、デバイスでトライフィック情報を受信している必要があります（スマートフォンを使用してトライフィックデータを受信する、32 ページ）。

休憩の計画: 停止しないで 2 時間以上運転を続けると、デバイスは通知音を再生し、この先の休憩場所を提案します。

運転者アラートを有効または無効にする

個別のオーディブル運転者アラートをオフにすることができます。オーディブルアラートを無効にしても、視覚アラートは表示されます。

- 1  > 安全運転支援 > 運転者アラートの順に選択します。
- 2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

赤信号カメラとスピードカメラ

注記

Garmin は、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注：この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。報告されたスピードカメラや赤信号カメラに近づくと、アラートされます。

- 一部の地域では、Tread アプリを実行しているスマートフォンをデバイスに接続すると、赤信号データとスピードカメラのデータを受信できます。
- Garmin Express™ ソフトウェア (garmin.com/express) または Tread アプリを使用してデバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

事故検出と通知

⚠️ 警告

このデバイスでは、緊急連絡先にユーザーの位置情報を送信することができます。これは補助的な機能のため、本機能に依存せず、万が一の事故に備えて他の連絡手段を用意してください。Tread アプリがユーザーに代わって救急医療機関等への連絡や救助の要請を行うことはありません。

注記

この機能を利用するには、Bluetooth 機能を使って Tread アプリに接続している必要があります。Tread アプリを使用して緊急連絡先を登録できます。

この機能を利用するには、付属のマウントまたは USB ケーブルを使用して、デバイスを互換性のある外部電源に接続する必要があります。

zūmo デバイスは、内蔵のセンサーを使用して車両事故の可能性を検知します。

- 緊急連絡先を設定した場合、デバイスが事故を検知し、車両が停止すると自動テキストメッセージがその連絡先に送信されます。運転手が電話をかけたりメッセージを送信できない場合、その連絡先に状況を通知することができます。この機能を利用するには、デバイスと Tread アプリが Bluetooth で接続され、お使いのスマートフォンがデータ通信を利用できる環境である必要があります。
- 緊急連絡先を設定していない場合に事故が検知されると、デバイスに最も近い住所または地理座標が自動的に表示されます(可能な場合)。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。
- inReach®衛星通信対応デバイスが zūmo デバイスに接続されている場合に zūmo デバイスで事故が検知されると、SOS を手動で送信できます。

緊急連絡先を設定する

緊急連絡先を設定するには、あらかじめナビゲーションデバイスを Tread アプリにペアリングする必要があります (スマートフォンとペアリングする, 28 ページ)。

緊急連絡先の設定中は、デバイスから Tread アプリとスマートフォンの電話帳にアクセスできる必要があります。緊急連絡先は、zūmo デバイスとペアリングされたスマートフォン内に連絡先として実際に存在している必要があります。

1 スマートフォンの Tread アプリから、≡ > 設定 > 緊急支援 > 繼続の順に選択します。

2 利用規約を読み、同意します。

注：この機能を使用するには、利用規約に同意する必要があります。

3 緊急連絡先を追加を選択します。

スマートフォンの連絡先のリストが表示されます。

4 連絡先を選択します。

5 インポート > 保存の順に選択します。

6 画面に表示される指示に従って操作し、連絡先に緊急連絡先として追加したことを探知するメッセージを送信します。

注：事故の通知メッセージには、入力した名前やニックネームが含まれますが、ユーザーの電話番号は送信されません。このメッセージはサードパーティのサービスを使用して送信されるため、緊急連絡先には知らない番号からメッセージが送信されることをあらかじめ通知してください。

事故通知のキャンセル

デバイスが事故を検知すると、メッセージおよび音声プロンプトにより緊急連絡先に通知が送信されることが通知されます。事故を検知すると 60 秒のタイマーがカウントダウンを始め、タイマーが切れると通知が自動的に送信されます。通知を送信しない場合は、キャンセルすることができます。

タイマーが切れる前に、キャンセルを選択します。

事故通知の無効化

事故通知が無効になっていると、デバイスは事故を検出しても SMS 通知を送信しません。

1 ⚙ > 安全運転支援の順に選択します。

2 自動事故検出チェックボックスをオフにします。

inReach リモート

inReach リモート機能を使用すると、zūmo デバイスを使用して inReach 衛星通信デバイス (別売) を制御できます。メッセージの送信、天気予報の表示、SOS アラートの発信などを行うことができます。inReach デバイスを購入するには、buy.garmin.com にアクセスしてください。

inReach デバイスの接続

1 inReach デバイスを zūmo デバイスから 3 m (10 ft.) 以内に置きます。

2 zūmo デバイスで、≡ > inReach の順に選択します。

3 zūmo デバイスの画面の指示に従って、ペアリングプロセスを完了します。

ペアリングプロセスが完了すると、inReach と zūmo デバイスが通信範囲内にあるときに、デバイスが自動的に接続されます。

inReach メッセージの送信

zūmo デバイスを使用して inReach メッセージを送信する前に、互換性のある inReach デバイスとペアリングする必要があります ([inReach デバイスの接続, 9 ページ](#))。

デバイスを使用して、連絡先に inReach メッセージを送信できます。

- 1 > inReach > の順に選択します。
- 2 新規メッセージを選択します。
- 3 1つまたは複数の連絡先を追加するには、宛先選択を選択します。
- 4 メッセージを入力します。
- 5 送信を選択します。

SOS 救助の開始

警告

zūmo ナビゲーターを使用して SOS 救助を開始する前に、互換性のある inReach 衛星通信機とペアリングする必要があります ([inReach デバイスの接続, 9 ページ](#))。

注意

デバイスが SOS モードのときは、inReach 衛星通信機の電源をオフにしたり、オフにしようとしたりしないでください。オフにすると、この機能が正常に作動しなくなり、緊急時に支援を受けるのが遅れる可能性があります。

- 1 > inReach を選択します。
 - 2 を選択します。
 - 3 SOS カウントダウンが始まるまで待ちます。
デバイスは、現在地の詳細により既定のメッセージを緊急対応サービスに送信します。
 - 4 緊急対応サービスからの確認メッセージに返信します。
返信することで、救助中に対応できることを緊急対応サービスに知らせることができます。
- 救助の最初の 10 分間は、更新された場所が 1 分ごとに緊急対応サービスに送信されます。最初の 10 分以降にバッテリー電力を節約するため、移動中は更新された位置が 10 分ごとに送信され、静止中は 30 分ごとに送信されます。

SOS 救助のキャンセル

サポートが不要になった場合は、緊急対応サービスに送信した後に SOS 救助をキャンセルできます。

SOS 取り消しを選択します。

デバイスがキャンセルリクエストを送信します。緊急対応サービスから確認メッセージを受信すると、デバイスは通常の動作に戻ります。

ヘルメット着用に関する通知文の表示

デバイスで最初に衛星を補足したときや、自動二輪の安全規則が提供される場所に近づいたときに、ヘルメットやアイプロテクターの着用に関する通知が zūmo デバイスに表示されることがあります。

注記

安全のため、Garmin では、すべての運転者にヘルメットの着用をお勧めしています。ヘルメットに関する法律の通知は参照用であり、変更される場合があります。また、この通知は、法律上の助言を与えることを目的としていません。ヘルメットに関する法律の通知は、米国およびカナダでのみ使用できます。

通知を選択すると、詳細情報が表示されます。

ヘルメットに関する法律を検索する

各州と地方のヘルメットに関する法律を検索することができます。

- 1 > ヘルメットガイドを選択します。
- 2 州または地方を選択します。

目的地へのナビゲーション

ルート

ルートとは、現在地から1つ以上の目的地までの経路のことです。

- デバイスは、ルート計算モード(ルート探索方法を変更する, 11ページ)や回避(遅延、有料道路、およびエリアを回避する, 15ページ)などで設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます(ナビゲーションを開始する, 11ページ)。
- 使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます。
- ルートに複数の目的地を追加できます(ルートに場所を追加する, 14ページ)。

ナビゲーションを開始する

1 目的地検索を選択し、場所を検索します。

2 位置を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- 推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、出発!を選択します。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します(地図上のルート, 12ページ)。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます(ルートに場所を追加する, 14ページ)。

Garmin Adventurous Routing™を使用したルートの選択

カーブの多い道や峠道を優先し、高速道路をあまり使用しないアドベンチャールートを計算できます。この機能により運転を楽しめますが、目的地までの時間や距離が長くなる可能性があります。

1 目的地検索を選択し、場所を検索します。

2 位置を選択します。

3 ▲▼を選択します。

4 スライダーを使用して、ルートのアドベンチャーのレベルを増減させます。

5 出発!を選択します。

アドベンチャールート設定の変更

アドベンチャールートでは、いくつかのタイプの経路、道路、および環境機能を追加および削除できます。

1 目的地検索を選択し、場所を検索します。

2 位置を選択します。

3 ▲▼>削除を選択します。

4 1つまたは複数のルート機能を選択または削除し、削除を選択します。

ナビゲーターは、選択したルート機能を使用してルートを再計算します。

ルート探索方法を変更する

1 ☰>ナビゲーション>計算モードの順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ターンバイターンを選択して、道路やトレイルのルートを計算します。

- 直行を選択すると、道路状況にかかわらず、ポイント間のルートを計算します。

地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 位置マーカーを選択します。
 - ・ ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。
- 4 出発！を選択します。

帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

- 1 目的地検索 > 自宅への順に選択します。
- 2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

自宅の場所を編集する

- 1 目的地検索 >  > 自宅登録の順に選択します。
- 2 自宅の場所を入力します。

地図上のルート

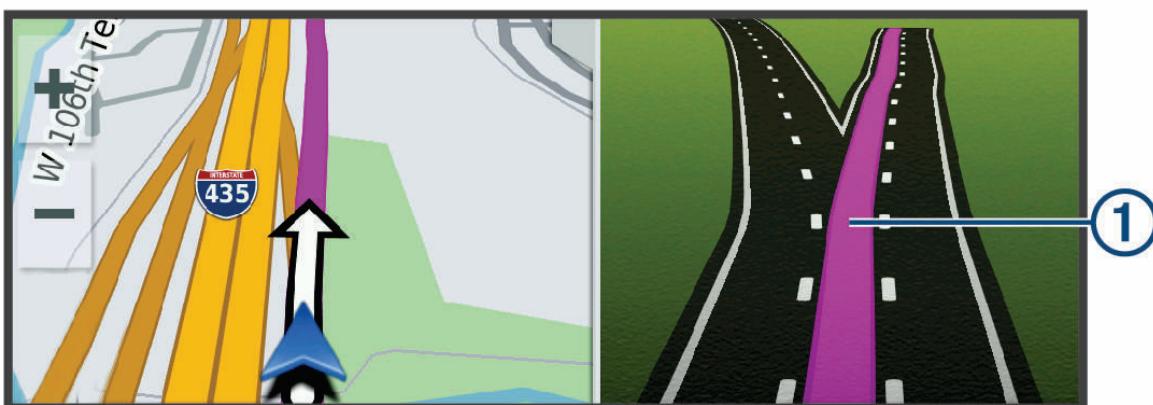
走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。



- ① 次のアクションまでの距離。
- ② ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび(利用可能な場合)走行すべきレーンを示します。
- ③ 次のアクションに関連する通りや出口の名前。
- ④ 地図上に強調表示されたルート。
- ⑤ ルートでの次のアクション。地図上の矢印はこの先のアクションの場所を示します。
- ⑥ 地図ツール。ルートとその周辺の詳細情報を表示するためのツールを提供します。
- ⑦ 走行中の道路の名前。
- ⑧ 車速。

アクティブ車線案内

ルートで転換地点、出口、またはインターチェンジに近づくと、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線①が方向転換する車線を示します。



方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レーン変更、その他の方向指示を表示できます。

1 地図から、オプションを選択します。

- ・ナビゲーションする際にこの先の方向転換や方向指示を表示するには、≡ > 方向転換を選択します。
- 地図ツールには、地図の横に次の複数の方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。
- ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。

2 方向転換または方向指示を選択します(オプション)。

詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点が画像で表示されます。

地図にルート全体を表示する

1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。

2 []を選択します。

目的地に到着する

目的地に近づくと、デバイスはルートの達成に役立つ情報を提供します。

- 地図上の目的地の場所を示し、目的地に近づいていることを音声プロンプトがアナウンスします。
- 目的地に近づくと、デバイスは駐車場の検索をするかどうか自動的に尋ねます。はいを選択して、近くの駐車場を検索できます ([目的地の近くの駐車場, 14 ページ](#))。
- 目的地で停車した場合、デバイスはルートを自動的に終了します。デバイスが到着を自動的に検出しなかった場合は、停止を選択してルートを終了できます。

目的地の近くの駐車場

デバイスは、目的地の近くの駐車場所を探すのに役立ちます。一部の目的地に近づくと、デバイスが自動的に駐車場を提案します。

1 次の中からオプションを選択します。

- デバイスが駐車場を提案したら、高を選択して、すべての推奨駐車場を表示します。
注：任意の推奨駐車場を選択すると、ルートが自動的に更新されます。
- デバイスが駐車場を提案していない場合は、**目的地検索 > カテゴリー > 駐車場** の順に選択し、 > 目的地周辺を選択します。

2 駐車場を選択し、出発！を選択します。

デバイスは、駐車場にガイドします。

ライド概要

目的地に到着すると、デバイスにライドの統計の概要が表示されます。保存を選択すると、ライドをトラックとして保存できます。

注：[設定]メニューでライド概要を無効にすることができます ([運転者支援の設定, 47 ページ](#))。

アクティブルートを変更する

ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ルートをナビゲートしている必要があります ([ナビゲーションを開始する, 11 ページ](#))。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

ヒント：複数の目的地またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、ルートプランナーを使用して、ルートの計画、スケジュール、および保存ができます ([ルートを計画する, 42 ページ](#))。

1 地図から、<> 目的地検索を選択します。

2 位置情報を検索します。

3 位置を選択します。

4 出発！を選択します。

5 次の中からオプションを選択します。

- ルートの次の目的地として場所を追加するには、次の経由地を追加を選択します。
- ルートの最後に場所を追加するには、最後の経由地を追加を選択します。
- 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、アケイブルートに追加を選択します。

デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

アドベンチャールートのレベルを変更する

アドベンチャールートのレベルを、新しいルートを開始せずに変更できます。

1 地図で、≡ > ルートの編集 > Garmin Adventurous Routing™ の順に選択します。

2 スライダーを使用して、ルートのアドベンチャーレベルを増減させます。

3 出発！を選択します。

ルートを形成する

ルートを形成するには、ルートのナビゲーションを開始する必要があります ([ナビゲーションを開始する, 11 ページ](#))。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに経由地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方向を選択したり特定の地域を通過することができます。

- 1 地図で、 > ルートの編集 > ルートを形成するの順に選択します。
デバイスがルート形成モードになります。
- 2 地図上の場所を選択して、シェイピングポイントを作成します。
ヒント:  を選択して地図を拡大表示し、より正確に場所を選択することができます。
- 3 必要に応じて、地図上の他の場所を選択して、さらにシェイピングポイントを追加します。
- 4  を選択します。

迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

- 1 地図で、 > ルートの編集を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 距離を指定して迂回するには、**距離で迂回**を選択します。
 - ・ ルート上の特定の道路を迂回するには、**道路別迂回路**を選択します。

ナビゲーションを停止する

地図で、 > 停止を選択します。

遅延、有料道路、およびエリアを回避する

ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トライフィック情報を受信している必要があります ([スマートフォンを使用してトライフィックデータを受信する, 32 ページ](#))。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。[トライフィック設定] でこのオプションを無効にしている場合 ([トライフィック設定, 47 ページ](#))、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、 > トライフィックを選択します。
- 2 代替ルートを選択します（利用可能な場合）。
- 3 出発！を選択します。

有料道路を回避する

デバイスは、有料道路、有料橋などの有料区域、または渋滞区域の通過を回避できます。他に妥当なルートがない場合は、ルートに有料区域が含まれる場合があります。

- 1  > ナビゲーション > 回避 > 通行料金の順に選択します。
- 2 保存を選択します。

道路の回避機能

- 1  > ナビゲーション > 回避の順に選択します。
- 2 ルート上で回避したい道路の種類を選択し、保存を選択します。

カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

エリアを回避する

- 1  > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 必要に応じて、回避の追加を選択します。
- 3 回避エリアの追加を選択します。
- 4 回避するエリアの左上隅を選択し、次へを選択します。
- 5 回避するエリアの右下隅を選択し、次へを選択します。
選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。
- 6 完了を選択します。

道路を回避する

- 1  > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 必要に応じて、回避の追加を選択します。
- 3 回避道路の追加を選択します。
- 4 回避する道路区域の始点を選択し、次へを選択します。
- 5 道路区域の終点を選択し、次へを選択します。
- 6 完了を選択します。

カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。

- 1  > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 回避を選択します。
- 3  > 無効の順に選択します。

カスタム回避を削除する

- 1  > ナビゲーション > カスタム回避 >  の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ すべてのカスタム回避を削除するには、すべて選択 > 削除の順に選択します。
 - ・ カスタム回避を1件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、削除を選択します。

直行ルートをナビゲーションする

ナビゲーションの指示に従わなかった場合は、直線モードを使用できます。

 > ナビゲーション > 計算モード > 直行 > 保存を選択します。

デバイスは道路を無視し、目的地間の直線を使用してルートを計算します。

燃料の記録

デバイスを設定して、燃料使用量を予測したり、予測最大走行距離に達した際に警告をだしたり、予測残走行距離に基づいて燃料の給油を促すようにすることができます。燃料計を有効にすると、で現在の燃料の状態を確認できます。

白: 燃料計が無効、またはデバイスが自動二輪マウントに接続されていません。

緑: 予測残走行距離が燃料タンクアラームレベルを上回っています。

黄: 予測残走行距離は燃料タンクアラームレベルを下回っています。

赤: ガソリン残量で走行できる予測距離はゼロです。

燃料計を有効にする

燃料計を有効にするには、自動二輪車マウントに取り付ける必要があります。

燃料計を有効になると、トリップコンピューターに燃料ゲージが表示されます（[トリップ情報ページを表示する, 26 ページ](#)）。

- 1 燃料タンクを満タンにします。
- 2  > 燃料設定 > 燃料の記録の順に選択します。
- 3 満タン時の距離を選択します。
- 4 満タンで走行する距離を入力し、完了を選択します。

ガソリン残量アラームの設定

燃料タンクの残量が少なくなったときに、警告するよう設定することができます。

注：低燃料警告を機能させるには、デバイスを自動二輪車マウントに接続する必要があります。

- 1 燃料計を有効にします（「[燃料計を有効にする, 17 ページ](#)」）。
- 2 燃料残量警告を選択します。
- 3 距離を入力し 完了を選択します。

燃料が入力した距離に必要なだけの容量まで減ると、地図ページにガソリン残量アラームが表示されます。

燃料タンクの燃費をリセットする

燃料タンクに給油するときは、燃料残量を正確に追跡するために、デバイスで燃料タンクの燃費をリセットする必要があります。

-  > 燃料設定 > 燃料タンクのリセットの順に選択します。

燃料給油案内を有効にする

燃料給油案内を有効にするには、事前にデバイスを自動二輪モードにして、自動二輪車マウントに取り付け、燃料計を有効にする必要があります。

予測残走行距離に基づいて、燃料給油を促すように設定することができます。

-  > 燃料設定 > 燃料給油案内の順に選択します。

位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。目的地検索メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

- ・ すべての場所情報をすばやく検索するには、検索語を入力します（[検索バーを使用して位置を検索する, 18 ページ](#)）。
- ・ カテゴリーごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索します（[ジャンル別施設, 18 ページ](#)）。
- ・ 検索ツールを使用して、住所、交差点、または地理座標など特定の場所を検索します（[検索ツール, 21 ページ](#)）。
- ・ 別の都市または地域の周辺を検索します（[検索エリアを変更する, 21 ページ](#)）。
- ・ お気に入りの場所を保存して後からすばやく検索できます（[位置を保存する, 23 ページ](#)）。
- ・ 最近検索した場所に戻ります（[最近検索した位置を表示する, 22 ページ](#)）。

検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリー、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

1 目的地検索を選択します。

2 検索バーで 検索を選択します。

3 検索語の全体または一部を入力します。

検索語の候補が検索バーの下に表示されます。

4 次の中からオプションを選択します。

- ・ 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリー名を入力します。
- ・ 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
- ・ 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
- ・ 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
- ・ 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
- ・ 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。

5 次の中からオプションを選択します。

- ・ 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
- ・ 入力したテキストを使用して検索するには、を選択します。

6 必要に応じて、位置を選択します。

ジャンル別施設

注記

ユーザーはジャンル別施設に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリー別に分類されガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

カテゴリーを入力して位置を検索する

1 目的地検索を選択します。

2 カテゴリーを選択するか、または カテゴリーを選択します。

3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。

4 位置を選択します。

場所内のジャンル別施設にナビゲーションする

注：この機能は、すべての地域またはすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

ショッピングモール内のストアまたは空港の特定のターミナルなど、大規模な場所の中にあるジャンル別施設(POI)へのルートを作成できます。

1 目的地検索 > 検索を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ 場所を検索するには、場所の名前または住所を入力し、を選択して、手順 3 に進みます。
- ・ POI を検索するには、POI の名前を入力し、を選択して、手順 5 に進みます。

3 場所を選択します。

場所の下にレストラン、レンタカー、またはターミナルなど、カテゴリーのリストが表示されます。

4 カテゴリーを選択します。

5 POI を選択し、出発！を選択します。

デバイスは、POI の周辺の駐車場または場所までのルートを作成します。目的地に到着すると、推奨の駐車場がチェックカーフラッグで示されます。ラベルの付いたポイントは、場所内にある POI の位置を示します。

場所の探索

注：この機能は、すべての地域またはすべての製品モデルで利用できるわけではありません。各場所内にあるすべてのジャンル別施設のリストを表示できます。

- 1 場所を選択します。
- 2 ① > この場所を詳細に調査するを選択します。

Garmin Explore™ウェイポイントの表示

- 1 ② > Explore の順に選択します。
- 2 データタイプを選択します。
- 3 詳細を表示する項目を選択します。

Garmin Explore アカウントデータの同期

アカウントデータを同期する前に、Tread アプリに接続し、Garmin Explore を有効にする必要があります。

トラックなどのデータを Garmin Explore アカウントと同期できます。これは、互換性のある各デバイスでデータを利用できるようにするために役立ちます。デバイスは定期的にデータをアカウントと自動的に同期します。いつでも手動でデータを同期することもできます。

- 1 ③ > Explore の順に選択します。
- 2 ④ を選択します。

場所検索の結果

デフォルトでは、場所検索の結果はリストに表示され、最も近い場所が一番上に表示されます。下にスクロールしてより多くの結果を表示できます。

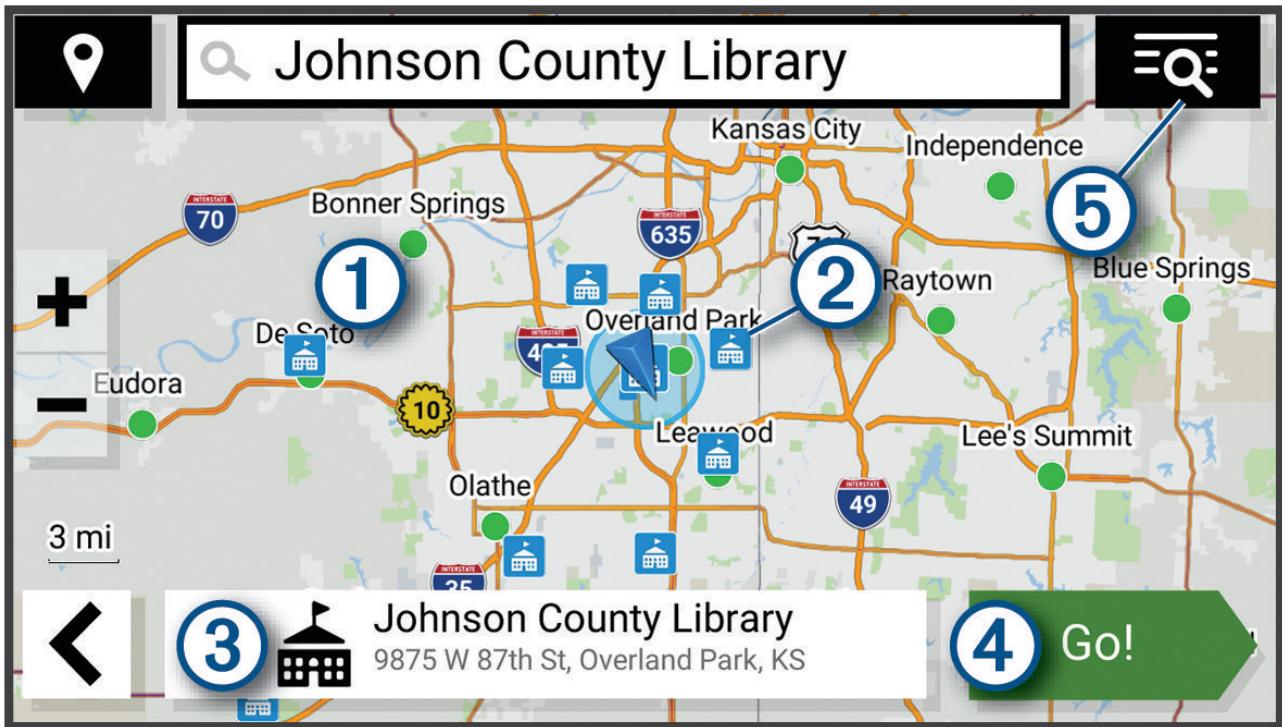


①	場所を選択してオプションメニューを表示します。
②	選択して、選択した場所に関する詳細情報を表示します。
③	選択して、Garmin Adventurous Routing を使用して場所へのナビゲーションを開始します。
④	出発！ 選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。
⑤	選択して、検索結果を地図上に表示します。

地図上の場所検索結果

場所検索の結果をリストではなく地図に表示できます。

場所検索の結果から、を選択します。最も近い場所が地図の中心に表示され、選択した場所の基本情報が地図の下部に表示されます。

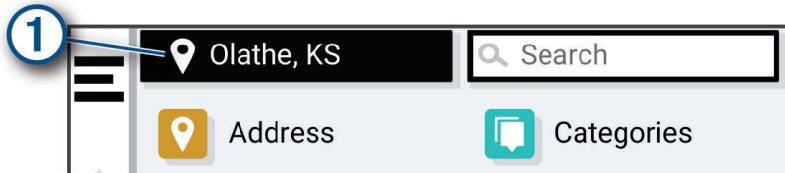


①	地図をドラッグして、追加の検索結果を表示します。
②	追加の検索結果。選択して、別の場所を表示します。
③	選択した場所の概要。選択して、選択した場所に関する詳細情報を表示します。
④	出発！ 選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。
⑤	選択して、検索結果をリストに表示します。

検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 現在の検索エリア①の横にある📍を選択します。



- 3 検索エリアを選択します。
- 4 必要に応じて、画面の指示に従って、特定の場所を選択します。

選択した検索エリアが📍の横に表示されます。目的地検索メニューのオプションを使用して場所を検索すると、そのエリアの近くにある場所が提案されます。

駐車場

現在の場所近くの駐車場を検索する

- 1 目的地検索 > カテゴリー > 駐車場を選択します。
- 2 駐車場を選択します。
- 3 出発！を選択します。

指定した場所近くの駐車場を検索する

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 位置情報を検索します。
- 3 位置検索結果から位置を選択します。
- 4 ① > 駐車場の順に選択します。
選択した場所の近くにある駐車場のリストが表示されます。
- 5 駐車場を選択します。
- 6 出発！を選択します。

検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

住所を検索する

注：デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 必要に応じて、📍を選択して、別の都市または地域の周辺を検索します。
- 3 住所を選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。

交差点を検索する

2本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。

- 1 目的地検索 > 交差点の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。
- 3 交差点を選択します。

座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。

- 1 目的地検索 > 座標の順に選択します。
- 2 必要に応じて  を選択し、座標形式やデータを変更します。
- 3 緯度 / 経度を入力します。
- 4 地図上で表示を選択します。

Tripadvisor[®]

注記

Garmin は Tripadvisor 情報の正確性または適時性について責任を負いません。

ユーザーはジャンル別施設 (POI) に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

お使いのデバイスには、Tripadvisor トラベラー評価が含まれています。Tripadvisor 評価は、自動的に該当する施設リスト（レストラン、ホテル、アトラクション）の検索結果に表示されます。近くの Tripadvisor ジャンル別施設を検索して、距離または人気度に基づき並べ替えすることもできます。

Tripadvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する

- 1 目的地検索 > Tripadvisor を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
そのカテゴリーに該当する、近くの Tripadvisor ジャンル別施設のリストが表示されます。
- 4 表示された関心スポットを距離または人気度でフィルタリングするには、結果を並べ替えるを選択します（オプション）。
- 5  を選択し、検索項目を入力します（オプション）。

人気スポット

注記

Garmin は Tripadvisor または Michelin[®]情報の正確性または適時性について責任を負いません。ユーザーはジャンル別施設に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

人気スポット検索機能では、Tripadvisor および Michelin の主要ポイントと評価の両方が対象とされ、一般施設の包括的なリストが表示されます。検索結果は、カテゴリー、評価、ルートからの距離でフィルタリングできます。

注：Tripadvisor および Michelin ジャンル別施設は利用できない地域もあります。

最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の 50 件保存されています。

目的地検索 > 最近表示した項目の順に選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

目的地検索 > 最近表示した項目 >  > 消去 > はいの順に選択します。

現在地情報を表示する

[現在地の確認] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 病院、警察署、またはガソリンスタンドを選択します。

注：サービスカテゴリーの中には、すべてのエリアでは提供されていないものもあります。

選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。

- 3 位置を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ その場所までのナビゲーションが開始するには、出発！を選択します。
 - ・ 電話番号や場所に関する他の詳細を表示するには、**i**を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2  > 現在地までの道順の順に選択します。
- 3 始点を選択します。
- 4 選択を選択します。

ショートカットを追加する

[目的地検索] メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリー、または検索ツールを直接参照できます。

[目的地検索] メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。

- 1 目的地検索 > ショートカットの追加の順に選択します。
- 2 アイテムを選択します。

ショートカットを削除する

- 1 目的地検索 >  > ショートカットの削除の順に選択します。
- 2 削除するショートカットを選択します。
- 3 確認のため再度ショートカットを選択します。
- 4 完了を選択します。

位置を保存する

位置を保存する

- 1 位置を検索します (カテゴリーを入力して位置を検索する, 18 ページ)。
- 2 検索結果から位置を選択します。
- 3 **i** > 保存の順に選択します。
- 4 必要に応じて、名前を入力し、完了を選択します。
- 5 保存を選択します。

地図を使用して位置を保存する

地図から位置を選択して保存できます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。
- 3 ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。
- 4 保存を選択します。
- 5 オプションを選択します（複数可）
 - ・ 位置の名前を変更するには、名前を選択して名前を入力します。
 - ・ 位置マーカーを変更するには、地図記号を選択します。
 - ・ コレクションカテゴリーを割り当てるには、コレクションを選択します。
- 6 完了を選択します。

現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 保存を選択します。
- 3 名前を入力し、完了を選択します。
- 4 保存 > OK の順に選択します。

保存した位置を編集する

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 を選択します。
- 5  > 編集を選択します。
- 6 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 名前を選択します。
 - ・ 電話番号を選択します。
 - ・ カテゴリーを保存した位置に割り当てるには、カテゴリーを選択します。
 - ・ 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、地図記号の変更を選択します。
- 7 情報を編集します。
- 8 完了を選択します。

保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2  > 保存した場所を削除の順に選択します。
- 3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、削除を選択します。

地図を使用する

地図を使用してルートのナビゲーションを行うこと ([地図上のルート, 12 ページ](#)) やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。

- 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
- 拡大または縮小するには、 または を選択します。
- ノースアップ表示と 3D 表示を切り替えるには、 を選択します。
- 表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングするには、 を選択します。
- ルートを開始するには、地図上で位置を選択し、**出発!** ([地図を使用してナビゲーションを開始する, 12 ページ](#)) を選択します。

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

停止: アクティブルートのナビゲーションを停止します。

ルートの編集:迂回したり、ルートの場所をスキップしたりできます ([アクティブルートを変更する, 14 ページ](#))。

ミュート: デバイスの音声をミュートします。

次の都市まで: アクティブルートや高速道路沿いの次の都市およびサービスを表示します。

コースポイント: ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します ([この先, 25 ページ](#))。

高度: 今後の高度変化を表示します。

トラフィック: ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します ([進行方向の交通事故を表示する, 27 ページ](#))。

この機能は、一部の地域やデバイスモデルでは利用できません。

出張データ: 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します ([地図からトリップデータを表示する, 26 ページ](#))。

トラックレコーダー: アクティブなトラックのトラックデータを表示します。

方向転換: ルートのこの先の方向転換のリストを表示します ([方向転換と方向指示を表示する, 13 ページ](#))。

スマートフォン: 接続されているスマートフォンの最近の通話履歴を一覧で表示し、通話中に通話中オプションを表示します。

天気: エリアの天気状況を表示します。

ミュージックプレイヤー: メディアコントロールとメディア情報を表示します。

グループライド: グループライドのメンバーの距離および方向を表示します ([グループライド, 32 ページ](#))。

ラジオ: 互換性のある Bluetooth ヘッドセットでプッシュトゥトーク機能を使用できます ([ヘッドセットでプッシュトゥトークを有効にする, 35 ページ](#))。

地図ツールを表示する

- 1 地図で を選択します。
- 2 地図ツールを選択します。
地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。
- 3 地図ツールを使い終わったら、 を選択します。

この先

コースポイントツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設をカテゴリーごとに表示できます。

3つのカテゴリーをコースポイントツールに表示するようにカスタマイズできます。

この先の場所を表示する

- 1 地図から  > コースポイントを選択します。
走行中、地図ツールは道路またはルートに沿って次の場所を表示します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 地図ツールに複数のカテゴリーが表示されている場合は、1つのカテゴリーを選択すると、そのカテゴリーに関する周辺の場所が一覧で表示されます。
 - ・ 地図ツールに「この先の場所」が表示されている場合は、場所を選択すると、その場所の詳細情報やそこまでのルートが表示されます。

[この先] カテゴリーをカスタマイズする

コースポイントツールで表示する場所カテゴリーを変更できます。

- 1 地図で、 > コースポイントを選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3  を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。
 - ・ カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。
 - ・ カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、カスタム検索を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。
- 5 保存を選択します。

次の都市まで

高速道路または高速道路を含むルートの走行中に、この先の都市に関する情報が [次の都市まで] ツールに表示されます。各都市の高速道路出口や出入口サービスまでの距離が、高速道路標識と同様に地図ツールに表示されます。

この先の都市や出入口サービスの表示

- 1 地図で、 > 次の都市までを選択します。
高速道路やアクティブルートの走行中に、この先の都市や出口に関する情報が地図ツールに表示されます。
- 2 都市を選択します。
デバイスに、選択した都市や出口にあるジャンル別施設（ガソリンスタンド、宿泊施設、レストランなど）が表示されます。
- 3 場所を選んで、出発！を選択すると、ナビゲーションが開始されます。

トリップ情報

地図からトリップデータを表示する

地図から、 > 出張データを選択します。

トリップデータフィールドをカスタマイズする

- 1 地図から、 > 出張データの順に選択します。
- 2 トリップデータフィールドを選択します。
- 3 オプションを選択します。

トリップデータ地図ツールに、新しいトリップデータフィールドが表示されます。

トリップ情報ページを表示する

トリップ情報ページには、速度が表示され、トリップに関する統計情報が表示されます。

地図で、スピードを選択します。

トリップ情報をリセットする

- 1 地図で、スピードを選択します。
- 2  > フィールドのリセットの順に選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、**すべて選択**を選択します。
 - ・ トリップコンピュータの情報をリセットするには、**全データのリセット**を選択します。
 - ・ 最高速度をリセットするには、**最高速度のリセット**を選択します。
 - ・ オドメーターをリセットするには、**トリップ B のリセット**を選択します。

進行方向の交通事故を表示する

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

この機能を使用するには、デバイスでトラフィックデータ ([\[トラフィック \]](#), 31 ページ) を受信している必要があります。

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。

- 1 ルートのナビゲーションの実行中に、 > トラフィックの順に選択します。地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。
- 2 この交通事故を選択して、追加情報を表示します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、 > トラフィックを選択します。
- 2 必要に応じて、 > 凡例を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、 > トラフィックを選択します。
- 2  > 事故を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

- 1  > 地図の表示 > 地図レイヤーの順に選択します。
- 2 地図に表示したいレイヤーを選択し、**保存**を選択します。

地図上に人気の自動二輪の経路を表示する

デバイスで、地図上に人気の自動二輪の経路を強調表示することができます。これは、より運転を楽しめる道路を選択するのに役立ちます。

地図から、 > 人気の経路 (バイク) を選択します。

地図データフィールドを変更する

- 1 地図からデータフィールドを選択します。
注：スピードはカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種類を選択します。

地図アイコンを変更する

- 1 地図から、地図アイコンを押し続けます。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 地図アイコンを置き換えるには、地図アイコンを選択し、表示する地図アイコンを選択します。
 - ・ 地図アイコンを削除するには、を選択します。
- 3 保存を選択します。

地図表示方法を変更する

- 1  > 地図の表示 > 運転地図表示の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ラックアップを選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
 - ・ ノースアップを選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
 - ・ 3D を選択すると地図が 3D 表示されます。
- 3 保存を選択します。

ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能

警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

Tread アプリを使用すると、デバイスでスマート通知やライブ情報（ライブトラフィックデータや天気情報など）を受信することができます。

ライブトラフィックデータ: 交通事故や遅延、工事ゾーン、道路閉鎖などのライブトラフィックデータをデバイスに送信します（[\[トラフィック \]](#), 31 ページ）。

天気情報: リアルタイムで天気予報、道路状況、天気レーダーをお使いのデバイスに送信します（[\[天気予報を表示する \]](#), 44 ページ）。

スマート通知: スマートフォンの通知とメッセージをデバイスに表示します。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話: 接続した Bluetooth ヘッドセットを使用して、デバイスから電話をかけたり受けたりすることができます。

位置情報をデバイスに送信: スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。

スマートフォンとペアリングする

zūmo ナビゲーターをスマートフォンおよび Tread アプリとペアリングし、追加の機能を有効にし、ライブ情報にアクセスすることができます（[\[ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能 \]](#), 28 ページ）。

- 1 zūmo ナビゲーターをオンにし、ナビゲーターとスマートフォンの距離が 3 m (10 ft.) 以内になるようにします。
- 2 zūmo ナビゲーターから、 > ストア > スマートフォンを追加の順に選択します。
- 3 スマートフォンを使用して QR コードをスキャンし、Tread アプリをダウンロードしてインストールします。
ヒント: ほとんどのスマートフォンでカメラアプリを使用して QR コードをスキャンできます。
- 4 画面の指示に従って Garmin アカウントにサインインし、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。

メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスをペアリングした後、ナビゲーターでスマートフォン機能を有効または無効にできます。（[\[電話設定 \]](#), 45 ページ）。デバイスは、電源がオンになっていて範囲内にあるときには、自動的に接続します。

ワイヤレスヘッドセットをペアリングする

注：ナビゲーションプロンプトと通話を同時に受信できるのは、1台のヘッドセットのみです。マルチメディアオーディオには、最大2台のヘッドセットを使用できます。

1 ヘッドセットとナビゲーションデバイスの距離は10m(33ft.)以内になるようにします。

2 ナビゲーションデバイスで、 > ヘッドセット > ヘッドセットの追加の順に選択します。

3 ヘッドセット側でBluetooth無線機能を有効にして、他のBluetoothデバイスに表示されるようにします。

4 ナビゲーションデバイスの画面の指示に従って、ペアリングプロセスを完了します。

ペアリングプロセスが完了した後、ペアリングしたワイヤレスヘッドセットの機能の有効と無効を切り替えることができます([ヘッドセット設定](#), 46ページ)。

スマート通知

デバイスがTreadアプリに接続されているときは、zūmoデバイスのスマートフォンから、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定のような通知を表示できます。

注：ナビゲーションデバイスがTreadアプリに接続した後、ナビゲーションデバイス上で通知を受信するまで数分間待つことがあります。スマート通知が接続され、アクティブになると、Bluetooth設定にが色付きで表示されます。

通知を受信する

警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

この機能を使用する前に、Treadアプリ([スマートフォンとペアリングする](#), 28ページ)が実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります。

デバイスがスマートフォンから通知を受信すると、ほとんどのページからポップアップが表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

注：地図を表示している場合、通知は地図ツールに表示されます。

・ 通知を無視するには、OKを選択します。

ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままでです。

・ 通知を表示するには、表示を選択します。

・ 通知を聞くには、表示>再生の順に選択します。

デバイスはTTS(Text-to-Speech)技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

・ 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、表示を選択してからオプションを選択します。

注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

地図の表示中に通知を受信する

△ 警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

この機能を使用する前に、Tread アプリを実行しているサポート対象のスマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります ([スマートフォンとペアリングする](#), 28 ページ)。

地図を表示しているとき、画面の端にある地図ツールに新しい通知が表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

- 通知を無視するには、を選択するか、ポップアップが終了するのを待ちます。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままでです。
- 通知を表示するには、通知テキストを選択します。
- 通知を聞くには、**メッセージを再生**を選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

通知のリストを表示する

すべてのアクティブな通知のリストを表示できます。

- > スマート通知の順に選択します。

通知のリストが表示されます。未読の通知は黒で表示され、以前に読まれた通知はグレーで表示されます。

- 次の中からオプションを選択します。

- 通知を表示するには、通知の説明を選択します。
- 通知を聞くには、を選択します。

デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話

注：ほとんどのスマートフォンとヘッドセットはサポートされていて使用できますが、特定のスマートフォンまたはヘッドセットの互換性は保証されていません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを互換性のあるスマートフォンとワイヤレスヘッドセットまたはヘルメットに接続し、ハンズフリーデバイスとして使用することができます。互換性を確認するには、www.garmin.com/bluetooth にアクセスしてください。

電話をかける

- > スマートfonを選択します。

- 次の中からオプションを選択します。

- 電話をかけるには、**ダイヤル**を選択して電話番号を入力し、**ダイヤル**を選択します。
- 最近の不在着信または最近ダイヤルした電話あるいは受信した電話の番号を表示するには、**通話履歴**を選択し、**ログ**を選択し、番号を選択し、**通話**を選択してダイヤルします。
- 電話帳にある連絡先に電話をかけるには、**電話帳**を選択し、連絡先を選択し、**通話**を選択します。
- レストランやアトラクションなどジャンル別施設に電話をかけるには、**カテゴリーを参照**を選択し、カテゴリーを選択し、場所を選択し、**通話**を選択します。

自宅に電話をかける

自宅に電話をかける前に、自宅の電話番号を入力する必要があります。

- > スマートfon > **自宅へ電話**の順に選択します。

音声ダイヤルを使用して電話をかける

- 1 > スマートフォン > 音声ダイヤルの順に選択します。
- 2 音声プロンプトを聞きます。
- 3 通話と発音し、通話先の名前、電話番号、または場所を音声入力します。

通話中オプションを使用する

通話中オプションは、電話に出た時に利用できます。一部のオプションはお使いの電話に対応していない可能性があります。

ヒント：通話中オプションのページを閉じた場合、任意の画面から を選択して再度開くことができます。地図から発信者を選択することもできます。

- ・会議通話を設定するには、**通話の追加**を選択します。
- ・オーディオを電話に転送するには、**ナビゲーターで通話中です**を選択します。
ヒント：この機能は、Bluetooth の接続を解除して通話を継続する場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。
- ・ダイヤルパッドを使用するには、**キーパッド**を選択します。
ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。
- ・マイクをミュートするには、**ミュート**を選択します。
- ・電話を切るには**通話終了**を選択します。

Bluetooth デバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetooth デバイスを一時的に取り外すことができます。Bluetooth デバイスは、今後も zumo ナビゲーターに自動的に接続できます。

- 1 次の中からオプションを選択します。
 - ・スマートフォンを切断するには、 > スマートフォンの順に選択します。
 - ・ヘッドセットを切断するには、 > ヘッドセットの順に選択します。
- 2 接続を解除するデバイスを選択します。
- 3 未接続を選択します。

ペアリングした電話を削除する

ペアリングした電話とのペアリングを解除して、今後自動的にデバイスに接続できないようにできます。

- 1 > スマートフォンの順に選択します。
- 2 スマートフォンを選択して、**デバイスを解除**を選択します。

[トライフィック]

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

お使いのデバイスは、この先の道路やルート上の渋滞に関する情報を提供できます。アクティブルートで大きな交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようデバイスを設定できます ([トライフィック設定, 47 ページ](#))。交通渋滞地図を使用すると、地域の交通遅延の地図を参照できます。

交通情報を提供するには、デバイスがトライフィックデータを受信している必要があります。

- ・すべての製品モデルで、Tread アプリを使用してトライフィックデータを受信できます (サブスクリプション無料)。
- トライフィックデータを利用できない地域もあります。トライフィック情報を利用できる地域については、garmin.com/traffic を参照してください。

スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する

デバイスは、Tread アプリを実行しているスマートフォンに接続されているときに、サブスクリプション無料のトラフィックデータを受信できます。

- 1 デバイスを Tread アプリに接続します ([スマートフォンとペアリングする, 28 ページ](#))。
- 2 zūmo デバイスで、 > トラフィックの順に選択し、トラフィックチェックボックスがオンになっていることを確認します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、 > トラフィックを選択します。
- 2 必要に応じて、 > 凡例を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、 > トラフィックを選択します。
- 2 > 事故を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

アプリケーションを使用する

グループライド

グループライドアプリを使用すると、あらかじめ設定されたテキストメッセージ、ライブ地図の位置情報、および音声通信を使用して、ドライブを調整したり、近くのライダーと通信したりできます。zūmo デバイスをスマートフォンの Tread アプリとペアリングして、グループライドトラッキング機能を有効にできます。

音声コミュニケーションとプリセットメッセージングにはグループライドアクセサリーが必要ですが、付属していない製品モデルもあります。音声コミュニケーション機能を利用できない地域もあります。詳細については、[garmin.com](#) を参照するか、グループライドアクセサリーを購入してください。

グループライドを開始する

グループライドを作成して、グループ無線チャネルの選択、グループライドに参加する運転者の表示と削除、グループライド名の設定を行うことができます。接続されたグループライドマウント、Tread アプリ、またはその両方を使用してグループライドを作成できます。

- 1 メインメニューで、グループライドを選択します。
 - 2 必要に応じて、運転者名を入力してから、完了を選択します。
 - 3 グループライドを開始を選択します。
 - 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ グループライドマウントを持つ運転者でグループライドを開始するには、**無線グループライドを作成する**を選択します。
 - ・ Tread アプリを使用して運転者とのグループライドを開始するには、**モバイルグループライドを作成する**を選択します。
 - 5 必要に応じて無線機チャネルを選択し、次へを選択します。
 - 6 ライド名を入力してから、完了を選択します。
- 運転者があなたのグループライドに加わると、その名前がリストに表示されます。
- 7 開始を選択します。
- グループライドは、すべての運転者がグループライドと同期した後に開始されます。

グループライドへの参加

他のライダーによって作成された近くのグループライドに参加できます。

- 1 メインメニューでグループライド>グループライドへの参加の順に選択します。
- 2 ライドIDを入力してから、完了を選択します。

最近のグループライドに再参加する

直近の10のグループライドのいずれかに再参加できます。

- 1 メインメニューで、グループライド>最近のグループライドを選択します。
- 2 最近のグループライドを選択し、参加を選択します。

無線グループライドに運転者を追加する

すでに進行中の無線グループライドに運転者を追加できます。

- 1 メインメニューで、 > グループライドを選択します。
- 2 必要に応じてを選択します。
- 3 追加を選択します。
新しい運転者がグループライドに加わると、リストに表示されます。
- 4 繼続を選択します。

メッセージの配信

警告

運転中はメッセージを読んだり送信したり返信したりしないでください。そうすると、ディスプレイに気を取られ、負傷または死亡を招く事故につながることがあります。

VHF無線機の範囲内にあるアクティブなグループライドのメンバーに、プリセットメッセージを配信できます。

- 1 メインメニューで、グループライドを選択します。
- 2 必要に応じて、を選択します。
- 3 グループに配信を選択します。
- 4 プリセットメッセージを選択し、送信を選択します。

位置情報の配信

警告

運転中は、ディスプレイを操作して位置情報を配信しないでください。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。

VHF無線機の範囲内にあるアクティブなグループライドのメンバーに位置情報を配信できます。

- 1 メインメニューで、グループライドを選択します。
- 2 必要に応じて、を選択します。
- 3 グループに配信>位置情報を配信の順に選択し、位置情報を選択します。
- 4 共有を選択します。

グループライド通知の表示

⚠️ 警告

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。

ほとんどのページでは、送信されたグループライドの位置やメッセージをデバイスが受信すると通知が表示されます。Group Ride アプリでグループライド通知を表示することもできます。

注：地図を表示しているとき、画面の端にある地図ツールに新しい通知が表示されます。

1 メインメニューからグループライド >  の順に選択し、通知を選択します。

2 出発！を選択すると、共有している場所までのナビゲーションが開始されます。

グループライドの終了

1 メインメニューでグループライドを選択します。

2 必要に応じて、 を選択します。

3 終了 > はいの順に選択します。

グループライド設定

メインメニューで、グループライド >  の順に選択します。

運転者名を編集：グループライド中に表示される名前を設定できます。この設定は、アクティブなグループライド中は使用できません。

運転者地図ラベル：地図上でアクティブな各運転者に表示されるラベルを設定します。

トラックを地図に表示：各グループライドメンバーが取るトラックを地図上に示します。

設定リセット：すべてのグループライド設定を初期設定値にリセットできます。この設定は、アクティブなグループライド中は使用できません。

ラジオ

注：この機能を利用できない製品モデルもあります。

注：無線アプリを使用する前に、グループライドアクセサリーを取り付ける必要があります。グループライドアクセサリを購入するには、garmin.com にアクセスしてください。

無線アプリを使用すると、無線プリセットの作成、無線チャンネルの選択、およびスケルチコードの選択ができます。この機能を使用するには、デバイスとアンテナをグループライドマウントに接続する必要があります。グループライドに参加またはグループライドを作成すると、zūmo デバイスは無線設定を自動的に構成します。

プリセットの選択

注：一部の製品モデルでは、無線機アプリはアプリメニューにあります。

1 メインメニューで、 ラジオの順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ 使用可能なプリセット間を移動するには、▲または▼を選択します。
- ・ メニューからプリセットを選択するには、プリセットを選択します。

無線チャンネルを選択する

1 メインメニューで、 ラジオの順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ 異なるチャンネルに移動するには、+または-を選択します。
- ・ メニューから MURS チャンネルを選択するには、チャンネルを選択します。

スケルチの調整

スケルチを調整し、CTCSS、DCS、およびオープンスケルチモードを切り替えると、音質を向上させ、エリア内の無線干渉を回避できます。

- 1 メインメニューで、 > ラジオの順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 現在のモードでスケルチコードを選択するには、 または を選択します。
 - ・ スケルチモードを調整するには、開くを選択します。

カスタム無線プリセットの追加

- 1 > ラジオ > プリセット > の順に選択します。
- 2 または を選択し、チャンネルおよびスケルチコードを選択します。
- 3 保存を選択します。

了解トーンの選択

無線を操作したときに他の機器が再生するトーンを選択できます。

- 1 > ラジオ > > 了解トーンの順に選択します。
- 2 了解トーンを選択します。
選択したトーンがデバイスで再生されます。
- 3 保存を選択します。

無線機をオフにする

> ラジオ > > はいの順に選択します。

ヘッドセットでプッシュツートークを有効にする

互換性のある Bluetooth ヘッドセットで使用するプッシュツートークコントロールを有効にできます。これにより、ヘッドセットの音声ダイヤル機能を使用して音声を送信できます。

- 1 > ラジオ > > ヘッドセット経由でプッシュツートークの順に選択します。
- 2 必要に応じて、画面の指示に従い、デバイスにヘッドセットをペアリングします。
- 3 ヘッドセット経由でプッシュツートークを選択します。
- 4 を選択します。

音声の送信

音声を送信する前に、zūmo デバイスを互換性のある Bluetooth ヘッドセットとペアリングするか、フィストマイクを接続する必要があります。

接続されたフィストマイクまたは互換性のある Bluetooth ヘッドセットを使用して、無線機で音声を送信できます。

次の中からオプションを選択します。

- ・ 接続されているフィストマイクの側面にあるプッシュトゥトークボタンを押します。
- ・ メインメニューで > ラジオ > ヘッドセット経由でプッシュツートークの順に選択します。
- ・ 接続されている Bluetooth ヘッドセットの音声ダイヤル機能を使用します ([ヘッドセットでプッシュツートークを有効にする, 35 ページ](#))。

ヒント：一時停止ボタンまたは停止ボタンを押して、無線機を手動で閉じることができます。

注：この機能を使用するには、ヘッドセット経由でプッシュツートーク設定を有効にする必要があります ([無線機の設定, 36 ページ](#))。

無線の音量の調整

- 1 > ラジオ > の順に選択します。
- 2 スライダーバーを使用して、音量を調整します。

無線機の設定

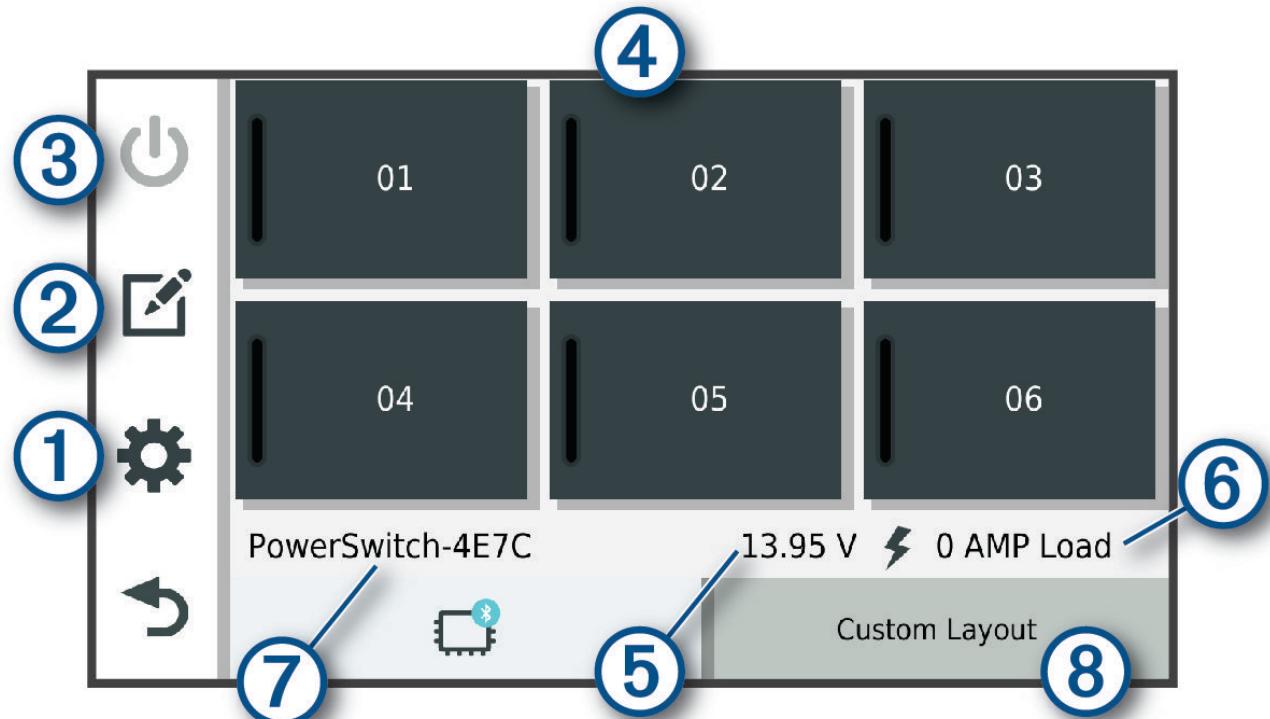
メインメニューから、**■>ラジオ>スピーカー**を選択します。

ヘッドセット経由でプッシュツートーク: 互換性のあるヘッドセットのプッシュツートークボタンを使用して、自分の音声を送信できます。

了解トーン: 無線機の操作時にデバイスが再生する了解トーンを設定します。

設定リセット: すべての無線機設定とプリセットを工場出荷時の初期設定値にリセットします。

Garmin PowerSwitch™アプリ



①	アプリ設定メニューを開きます
②	編集モードを開始して、アプリのレイアウトと機能をカスタマイズします
③	すべての出力をオフにします
④ 電源ボタン	接続された各出力を有効にします
⑤	入力電圧を表示します
⑥	選択した Garmin PowerSwitch デバイスの合計アンペア数を表示します
⑦	デバイス名を表示します
⑧	Garmin PowerSwitch デバイスタブとカスタムレイアウトタブを表示します

電源スイッチの有効化

Garmin PowerSwitch アプリを使用してスイッチを有効にする前に、Garmin PowerSwitch デバイスを車両に取り付けて、Garmin PowerSwitch アプリとペアリングする必要があります。

Garmin PowerSwitch アプリから電源ボタンを選択し、スイッチのオン / オフを切り替えます。

すべてのスイッチをオフにする

⌁を選択します。

ボタンのカスタマイズ

1 Garmin PowerSwitch アプリ画面から、を選択します。

アプリケーションが編集モードになります。

2 カスタマイズするボタンで、を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- ボタンの名前を変更するには、ボタンラベルフィールドを選択し、名前を入力します。
- ボタンにアイコンを追加するには、アイコンフィールドを選択し、アイコンを選択します。
- ボタンの色を変更するには、色を選択します。
- ボタンモードを変更するには、ボタンモードを選択します。
- スイッチの輝度を調整するには、スライダーを使用します。
- 制御入力で有効にするボタンを設定するには、制御入力を選択します。

4 <を選択します。

5 完了を選択します。

スイッチを制御入力へ割り当てる

制御入力機能を使用する前に、制御入力を Garmin PowerSwitch デバイスに接続する必要があります (制御入力の接続, 59 ページ)。

Garmin PowerSwitch デバイスが制御入力から信号を受信したときにオンにするスイッチを 1 つ以上割り当てることができます。

1 を選択します。

2 ご使用の Garmin PowerSwitch デバイスを選択します。

3 制御入力を選択します。

4 1 つ以上のスイッチを選択します。

カスタムレイアウトの追加

Garmin PowerSwitch アプリにカスタムレイアウトタブを追加できます。カスタムレイアウトに追加したボタンは、同時に複数のスイッチを制御できます。

1 Garmin PowerSwitch アプリから、を選択します。

デバイスが編集モードになります。

2 を選択します。

カスタムレイアウトヘボタンを追加する

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 ボタン追加を選択します。
- 4 新しいボタンで、 を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ボタンの名前を変更するには、ボタンラベルフィールドを選択し、名前を入力します。
 - ・ ボタンにアイコンを追加するには、アイコンフィールドを選択し、アイコンを選択します。
 - ・ ボタンの色を変更するには、色を選択します。
- 6 アクションを選択します。
- 7 必要に応じて、Garmin PowerSwitch デバイスとスイッチを選択します。
- 8 以下のようにして、アクションを選択します。
 - ・ ボタンを押すたびにスイッチのオン / オフを切り替えるように設定するには、切り替えを選択します。
 - ・ スイッチをオンにするようボタンを設定するには、オンにするを選択します。
 - ・ スイッチをオフにするようボタンを設定するには、オフにするを選択します。
- 9 ボタンモードを選択します。
 - ・ ワンタッチで有効にするようボタンを設定するには、標準を選択します。
 - ・ ボタンにタッチしている間のみ有効にするようボタンを設定するには、モーメンタリを選択します。
 - ・ ボタンを繰り返しオン / オフするように設定するには、ストロボを選択し、時間間隔を選択します。
- 10 必要に応じて、スライダーを使用して照明の明るさを設定します。
- 11  を選択します。
- 12 必要に応じて、アクションを追加を選択して、ボタンのアクションを追加します。
Garmin PowerSwitch デバイスのスイッチごとに 1 つのアクションを追加できます。

カスタムレイアウトでのボタンの配置

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 移動するボタンで を押したまま、ボタンを新しい場所にドラッグします。

カスタムレイアウトまたはボタンの削除

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ボタンを削除するには、削除するボタンの を選択します。
 - ・ レイアウトタブを削除するには、レイアウトタブの を選択します。

ルーチン

ルーチンは Garmin PowerSwitch デバイスを自動化します。互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスでルーチンを定義している場合、ルーチンの条件が満たされると、ルーチンのオン / オフが自動的に切り替わります。たとえば、毎日特定の時間になったとき、または車両が特定の速度に達したときにスイッチをオンにするルーチンを設定できます。ルーチンは、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスを使用している場合のみ使用できます。

ルーチンの追加

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、⚙️ > ルーチンの順に選択します。
- 2 必要に応じて、ルーチンを追加を選択します。
- 3 タイミングを選択します。
- 4 トリガーを選択します。
 - ・ 車両が特定の速度に達したときにトリガーするスイッチを設定するには、速度 > 次への順に選択し、画面に表示される指示に従って速度しきい値を入力します。
 - ・ 毎日特定の時刻にトリガーするようにスイッチを設定するには、時間 > 次への順に選択し、時刻を入力します。
 - ・ 日の出にトリガーするようにスイッチを設定するには、日の出時刻を選択します。
 - ・ 日の入りにトリガーするようにスイッチを設定するには、日の入時刻を選択します。
- 5 アクションを選択します。
- 6 デバイス、スイッチ、アクション、およびボタンモードを選択します。
- 7 必要に応じて、スライダーを使用して調光器を調整します。
- 8 保存を選択します。

ルーチンの編集

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、⚙️ > ルーチンの順に選択します。
- 2 編集するルーチンの🔧を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ルーチンのトリガーを変更するには、タイミングを選択し、トリガーを選択します。
 - ・ アクションを変更するには、変更するアクションの🔧を選択し、アクションを更新します。
 - ・ ルーチンにアクションを追加するには、アクションを追加を選択し、アクションに関する情報を入力します。
- 4 保存を選択します。

ルーチンの削除

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、⚙️ > ルーチンの順に選択します。
- 2 削除するルーチンで刪を選択します。

Great Ride

⚠️ 警告

この機能を使用すると、サードパーティーが作成したライドやルートに沿って走行することができます。Garminは、サードパーティによって作成されたルートの正確性、信頼性、完全性、または適時性についていかなる表明も行いません。このようなルートを使用したり信用したりすることについては、ユーザーが責任を負います。

Great Ride 機能を使用して、人気のライドをブックマークしたりナビゲートしたりできます。スマートフォンのTread アプリから、ライドの評価や写真の共有ができます。

ライドをブックマークする

スマートフォンのTread アプリで、ライドを確認したりブックマークすることができます。ブックマークされたライドは、zūmo ナビゲーターがTread アプリに接続されている間は自動的に同期されます。

- 1 スマートフォンのTread アプリで≡ > Great Ride の順に選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ 地域で人気のあるライドのリストを表示するには、人気のライドを選択します。
 - ・ 近くのライドのリストを表示するには、周辺を選択します。
- 3 ライドを選択します。
- 4 ブックマークの追加を選択します。

Great Ride を同期する

スマートフォンの Tread アプリと接続している場合、zūmo ナビゲーターで Great Ride アプリケーションを開くと、ブックマークされたライドが自動的に同期されます。いつでも手動でデータを同期することもできます。

- 1  > Great Ride の順に選択します。
- 2 必要に応じて、 を選択します。

ブックマークされたライドのナビゲーション

ブックマークされたライドのナビゲーションを開始するには、あらかじめ zūmo ナビゲーターの Great Ride アプリケーションとスマートフォンの Tread アプリを同期する必要があります ([Great Ride を同期する, 40 ページ](#))。

- 1  > Great Ride の順に選択します。
- 2 ライドを選択します。
- 3 ライドの始点を選択し、**出発!**を選択します。
- 4 次の目的地を選択して、**OK**を選択します。
デバイスは、選択した始点までのルートを探索します。
- 5 **開始**を選択します。

ブックマークされたライドのナビゲーション実行後は、スマートフォンの Tread アプリからライドを評価したり、写真を共有することができます。

Great Ride 地図レイヤーを有効または無効にする

地図のプレビュー時には、ブックマークされたライドの表示レイヤーを有効または無効にできます。

 > 地図の表示 > 地図レイヤー > ブックマーク済み Great Ride の順に選択します。

デバイスのマニュアルの表示

デバイス画面では、多くの言語の完全なマニュアルを表示できます。

- 1  > 操作マニュアルの順に選択します。
マニュアルはソフトウェアの言語と同じ言語で表示されます ([システム設定, 48 ページ](#))。
- 2 [] を選択してマニュアルを検索します (オプション)。

ミュージックプレイヤー

ミュージックプレイヤーでは、以下のソースから音楽またはオーディオを再生できます。

- zūmo デバイスに保存されている音楽ファイル。
- ペアリングされた電話からの Bluetooth オーディオ。

マップにミュージックプレイヤーツールを追加する

ミュージックプレイヤーマップツールを使用すると、マップからミュージックプレイヤーをコントロールできます。

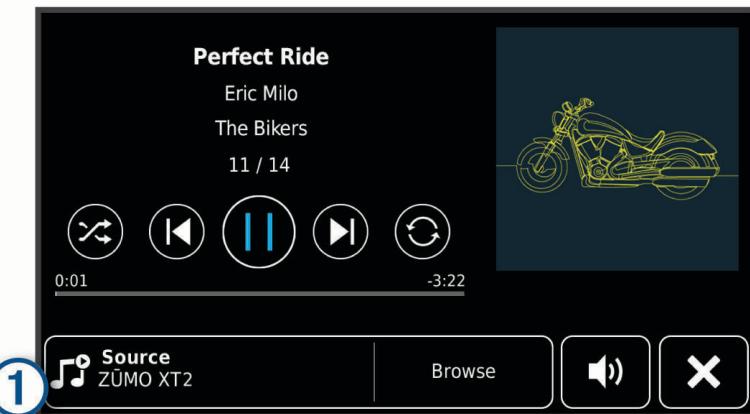
- 1 マップを開きます。
- 2  > ミュージックプレイヤーの順に選択します。
マップにミュージックプレイヤーのコントロールが表示されます。

メディアソースを変更する

メディアの再生元のソースをデバイスで変更できます。

1 音楽を選択します。

2 現在のメディアソースを変更します①。



3 リストから使用可能なメディアソースを選択します。

BirdsEye ダイレクト衛星イメージ

BirdsEye ダイレクト衛星イメージとは、詳細な衛星写真とラスターベースの地形情報を含む、ダウンロード可能な高解像度の地図イメージです。デバイスが Wi-Fi ネットワークに接続されている場合は、デバイスに BirdsEye ダイレクト衛星イメージを直接ダウンロードできます。

BirdsEye ダイレクト衛星イメージをダウンロードする

BirdsEye ダイレクト衛星イメージをデバイスに直接ダウンロードするには、デバイスをワイヤレスネットワークに接続する必要があります (Wi-Fi ネットワークへの接続, 50 ページ)。

1 > BirdsEye Direct の順に選択します。

2 を選択します。

3 次のオプションを選択します。

- 特定の場所やエリアの衛星イメージファイルをダウンロードするには、位置を選択してカテゴリーを選びます。
注：初期設定では、現在地に設定されています。
- 画質オプションを選択するには、詳細度を選択します。
- ダウンロードしたイメージファイルで、表示するエリアのサイズを定義するには、サイズを選択し、選択地点を基準とした距離を入力します。
- ダウンロードしたイメージファイルを保存する場所を選択するには、保存先を選択します。

4 ダウンロードを選択します。

5 ダウンロードしたイメージファイルの名前を入力し、完了を選択します。

ルートプランナー

ルートプランナーを使用すると、ルートを作成して保存し、後でナビゲートできます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したルートを編集すると、場所の並べ替え、おすすめアトラクションの追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。

ルートプランナーを使用すると、アクティブルートを編集して保存することもできます。

ルートを計画する

ルートには多くの場所を含めることができます。少なくとも出発地と目的地を含める必要があります。出発地とは、ルートを開始する予定の場所です。別の場所からルートのナビゲーションを開始すると、デバイスには最初に出発地にルートを設定するオプションが表示されます。往復する場合は、出発地と最終目的地を同じにすることができます。

- 1 > ルートプランナーを選択します。
- 2 必要に応じて、計算モードを選択します。
注：デフォルトでは、時間優先モードが選択されています。
- 3 出発点の場所を選択するオプションを選択します。
 - ・ 地図上で位置を選択します。
 - ・ を選択し、場所を検索します(検索バーを使用して位置を検索する、18 ページ)。
- 4 さらに場所を追加する場合は、手順 3 を繰り返します。
注：最後に追加する場所が目的地になります。
- 5 必要な場所をすべて追加したら、 を選択します。

ルートの場所を編集および並べ替える

- 1 > ルートを選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3 リストを選択します。
- 4 位置を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 場所を変更するには、 を選択し、新しい場所を入力します。
 - ・ 場所を上下に移動するには、 を選択し、場所をルートの新しい位置にドラッグします。
 - ・ 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、 を選択します。
 - ・ 場所を削除するには、 を選択します。

ルートのルートオプションを変更する

デバイスでルートが計算される方法をカスタマイズできます。

- 1 > ルートを選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3 を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ルートにシェイピングポイントを追加するには、**形成する**を選択し、1 カ所以上の場所を選択します。
 - ・ ルートの計算モードを変更するには、ルートセグメントにタッチして計算モードを選択します。

アクティブルートを保存する

ルートがアクティブな場合は、ルートプランナーを使用して保存できます。

- 1 > ルートプランナーを選択します。
- 2 を選択してルートを保存します。

保存したルートまでナビゲーションする

- 1 > ルートを選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3 出発!を選択します。
- 4 ナビゲーション先の最初の位置を選択し、OKを選択します。
- 5 開始を選択します。

デバイスは現在地から選択した位置へのルートを計算し、残りのルート目的地に順番に案内します。

ルートを共有する

他の zūmo ナビゲーターとルートを共有できます。

- 1  > Explore >  > 共有の順に選択します。
- 2 1つ以上のルートを選択し、を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ Tread アプリを使用してルートを共有するには、Garmin Tread を選択します。
 - ・ ルートを microSD カードにコピーするには、メモリカードを選択します。
- 4 完了を選択します。
- 5 zūmo ナビゲーターの画面の指示に従って、共有の処理を完了します。

トラック

トラックとは、パスの記録です。 トラックログには、時刻、場所、高度情報など、記録されたパスについての情報が含まれています。

トラックの記録

トラッキングはパスを記録します。 トラックを開始すると、デバイスは位置を記録し、トラックラインを更新します。 デバイスが Garmin Explore アカウントとペアリングされている場合、デバイスは記録されたトラックをアプリと定期的に同期します。

- 1  > トラックレコーダーを選択します。
- 2 開始を選択します。

TracBack®

最近のトラックを辿る

TracBack 機能は、移動の最近のセグメントを記録します。 最近のトラックを利用して、以前の場所まで戻ることができます。

- 1  > TracBack の順に選択します。
地図上に最近のトラックが表示されます。
- 2 出発！を選択します。

最近のトラックをルートとして保存する

最近のトラックをルートとして保存し、あとでトリッププランナーを使用してナビゲーションできます（[保存したルートまでナビゲーションする](#)、42 ページ）。

- 1  > TracBack の順に選択します。
地図上に最近のトラックが表示されます。
- 2  > ルートとして保存の順に選択します。
- 3 ルートの名前を入力し、完了を選択します。

天気予報を表示する

注記

Garmin は天気予報データの正確性または適時性について責任を負いません。

この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信している必要があります。デバイスを Tread アプリに接続して、天気データを受信できます ([スマートフォンとペアリングする, 28 ページ](#))。

注：天気予報を利用できない地域もあります。

- 1 > 天気の順に選択します。

デバイスは、現在の天気概況と今後数日間の予報を表示します。

- 2 曜日を選択します。

選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

別の都市周辺の天気を表示する

- 1 > 天気 > 現在地の順に選択します。

- 2 次の中からオプションを選択します。

- ・ お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。
- ・ お気に入りの都市を追加するには、**都市の追加**を選択し、都市名を入力します。

気象観測レーダーを表示する

この機能を使用する前に、Tread アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります ([スマートフォンとペアリングする, 28 ページ](#))。

- 1 > 気象観測レーダーを選択します。

- 2 ▶ を選択して、レーダー地図をアニメーション化します。

気象警報を表示する

この機能を使用する前に、Tread アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります ([スマートフォンとペアリングする, 28 ページ](#))。

注：この機能を利用できない地域もあります。

デバイスと共に移動中に、気象警報が地図上に表示されることがあります。また、現在地または選択した都市周辺の気象警報の地図を表示することもできます。

- 1 > 天気を選択します。

- 2 必要に応じて、都市を選択します。

- 3 > 気象警報の順に選択します。

道路状況を確認する

この機能を使用する前に、Tread アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります ([スマートフォンとペアリングする, 28 ページ](#))。

自分の地域、自分のルート、または別の都市の道路の天候に関連する道路状況を表示できます。

- 1 > 天気を選択します。

- 2 必要に応じて、都市を選択します。

- 3 > 道路状況を選択します。

往復のルートを作成する

デバイスでは、指定された出発地と距離、期間、または目的地を使用して、往復のルートを作成できます。

- 1 メインメニューで、 > Round Trip を選択します。
- 2 出発地を選択します。
- 3 位置を選択し、選択します。
- 4 トリップの属性を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 距離によりルートを計画するには、距離の選択を選択します。
 - ・ 時間に基づいてルートを計画するには、期間の選択を選択します。
 - ・ 指定された場所に基づいてルートを計画するには、目的地の選択を選択します。
- 6 次へを選択します。
- 7 距離、期間、または目的地を入力します。
- 8 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 距離または期間を入力した場合、完了を選択します。
 - ・ 距離を選択した場合は、選択を選択します。
- 9 方向を追加を選択します。
- 10 方向を選択し、次へを選択します。
- 11 計算を選択します。
- 12 オプションを選択します(複数可)。
 - ・ を選択すると、ルートに沿った高度統計が表示されます。
 - ・ を選択して、ルートを形成します。
 - ・ スライダーを使用して、ルートのアドベンチャーのレベルを増減させます。
 - ・ を選択し、1つまたは複数のルート機能を選択します。
- 13 ルートを選択し、出発!を選択します。

前のルートと目的地を表示する

この機能を使用する前に、走行履歴機能を有効にする必要があります(デバイスおよびプライバシー設定、48 ページ)。

前のルートと停止した場所を地図上に表示することができます。

 > 目的地の履歴 の順に選択します。

設定

Bluetooth 設定

電話設定

 > スマートフォンの順に選択し、スマートフォンを選択します。

未接続: ペアリングされたスマートフォンを切断します。

スマートフォン名: ペアリングされたスマートフォンの名前が表示されます。名前を選択して、ナビゲーションデバイスでの表示方法を変更できます。

Media オーディオ: ナビゲーションデバイスで、ペアリングしたスマートフォンからメディアオーディオを再生できるようにします。

Garmin Tread: ナビゲーションデバイスが、スマートフォンの Tread アプリに接続されているときに表示されます。

デバイスを解除: ペアリングされたデバイスのリストから、接続されているデバイスを削除します。このオプションは、デバイスがペアリングされた後にのみ使用できます。

ヘッドセット設定

 > ヘッドセットの順に選択し、ヘッドセットを選択します。

未接続: ペアリングされたヘッドセットを切断します。

ヘッドセット名: ペアリングされたヘッドセットの名前が表示されます。名前を選択して、ナビゲーションデバイスでの表示方法を変更できます。

ナビゲーションの音質: ナビゲーションプロンプトの音質を設定します。

ヘッドセット: ヘッドセット機能を有効または無効にします。

Media オーディオ: ヘッドセットからのメディアオーディオを有効または無効にします。

デバイスを解除: ペアリングされているデバイスのリストからヘッドセットを削除します。

Wi-Fi 設定

ワイヤレスネットワークの設定では、Wi-Fi ネットワークを管理できます。

 > Wi-Fi の順に選択します。

Wi-Fi: Wi-Fi 無線を有効にします。

保存済みネットワーク: 保存済みネットワークを編集または削除できます。

ネットワークを検索: 近くの Wi-Fi ネットワークを検索します ([Wi-Fi ネットワークへの接続](#), 50 ページ)。

地図表示設定

 > 地図の表示の順に選択します。

地図車両アイコン: 地図上で自分の位置を示す車両アイコンを設定します。

運転地図表示: 地図の表示方法を設定します。

詳細度: 地図の詳細度を設定します。詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

地図テーマ: 地図データの色を変更します。

地図レイヤー: 地図ページに表示するデータを設定します ([地図レイヤーをカスタマイズする](#), 27 ページ)。

ウェイポイントの整理: 地図が高倍率のときにウェイポイントを非表示にします。

自動ズーム: 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

次の経由地スキップ確認: ルート上の場所をスキップするときに表示される確認メッセージを設定します。

マイマップ: デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント: 追加の地図製品を購入するには、garmin.com/maps にアクセスしてください。

1  > 地図の表示 > マイマップの順に選択します。

2 地図を選択します。

ナビゲーション設定

 > ナビゲーションの順に選択します。

計算モード: ルート計算方法を設定します。

オフルート再計算: アクティブルートから外れた時に行う再計算の環境設定を設定します。

回避: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

カスタム回避: 特定の道路や地域を回避することができます。

トラフィック: トラフィック機能のオプションを設定します。

環境ゾーン: お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域に回避の環境設定を行います。

制限モード: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

GPS シミュレーター: デバイスによる GPS 信号の受信を停止し、バッテリーを節約します。

トラフィック設定

メインメニューで、 > ナビゲーション > トラフィックの順に選択します。

トラフィック: トラフィックを有効にします。

最適なルート: 最適な代替ルートを自動的、または要求に応じて使用できるようにします ([ルート上の交通遅延を回避する, 15 ページ](#))。

現在のプロバイダ: トラフィックデータに使用するトラフィックプロバイダを設定します。自動オプションでは、利用可能な最適なトラフィックデータが自動的に選択されます。

サブスクリプション: 現在のトラフィックサブスクリプションをリスト表示します。

シミュレートされた場所を設定する

屋内にいる場合、または衛星信号を受信していない場合、GPS シミュレータを使用してシミュレートした場所からルートを計画することができます。

- 1  > ナビゲーション > GPS シミュレーターを選択します。
- 2 メインメニューで、**地図表示**を選択します。
- 3 地図を 2 回タップして、エリアを選択します。
この位置の住所が画面の下部に表示されます。
- 4 位置の説明を選択します。
- 5 現在地変更を選択します。

運転者支援の設定

 > 安全運転支援の順に選択します。

運転者アラート: この先のゾーンや道路状況に関するアラートの有効 / 無効を切り替えることができます ([運転者への注意喚起の機能とアラート, 7 ページ](#))。

スピード超過アラート: 制限速度を超えてる場合には、警告を発します。

速度低下トーン: 制限速度が低下すると警告します。

ライド概要: ルートの終わりにライドの概要を表示します。

ヘルメットガイド: 国境を越えるときにヘルメット要件の変更を表示します。

国境アラート: 国境を越えるときに通知を表示します。

ルートのプレビュー: ナビゲーションを開始すると、ルート上の幹線道路のプレビューを表示します。

休憩プラン: 長時間運転すると、休憩を促したり、次のサービスを表示します。休憩の通知とこの先のサービスエリアの表示は、有効 / 無効を切り替えることができます。

自動事故検出: ナビゲーターの事故検出を有効にします。またナビゲーターが事故を検出したときに緊急連絡先に通知できるようにします ([事故検出と通知, 8 ページ](#))。

事故メッセージの送信: 事故が検出された場合、緊急連絡先にアラートを送信します ([事故検出と通知, 8 ページ](#))。

スピードカメラ: スピードカメラや赤信号カメラに近づいたときに警告します。

ディスプレイ設定

 > ディスプレイの順に選択します。

方向: ディスプレイをポートレート（縦）またはランドスケープ（横）に設定します。

注：この機能を利用できない製品モデルもあります。

デザイン: 昼または夜のカラー モードを選択できます。自動オプションを選択すると、時刻により昼または夜のカラーが自動的に切り替わります。

輝度: ディスプレイの輝度を調節できます。

液晶省電力モード: バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定できます。

スクリーンショット: デバイス画面の画像を撮影できます。スクリーンショットは、デバイスの Screenshot フォルダに保存されます。

システム設定

 > システムの順に選択します。

音声言語: 音声案内の言語を変更します。

テキスト言語: 画面に表示されるすべてのテキストを、選択された言語に変更します。

注：テキスト言語を変更しても、ユーザー入力データまたは通り名などの地図データの言語は変更されません。

キーボード言語: キーボード言語を有効にします。

単位: 距離の測定に使用する単位を設定します。

現在の時刻: デバイスの時間を設定します。

時刻表示形式: 表示時間に 12 時間、24 時間、または UTC を選択できます。

位置フォーマット: 地理座標に使用する座標形式とデータを設定します。

時間を設定する

1 メインメニューから時間を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- GPS 情報を使用して自動的に時間を設定するには、**自動**を選択します。
- 時間を手動で設定するには、数字を上下にドラッグします。

デバイスおよびプライバシー設定

 > デバイスの順に選択します。

バージョン情報: ソフトウェアバージョン番号、ユニット ID 番号、その他の複数のソフトウェア機能についての情報を表示します。

規制情報: 規制のマーキングおよび情報を表示します。

EULA: エンドユーザー使用許諾契約を表示します。

注：システムソフトウェアの更新または追加地図データの購入時に、この情報が必要となります。

ソフトウェアライセンス: ソフトウェアライセンス情報を表示します。

デバイスデータの報告: デバイスの機能を向上するために匿名データを共有します。

走行履歴: 目的地の記録をデバイスに保存できます。これにより、軌跡ログを表示したり、目的地の履歴機能や myTrends™ の推奨ルートを使用できます。

リセット: 走行履歴の消去、設定のリセット、またはすべてのユーザーデータの削除を実行できます。

設定を初期化する

設定のカテゴリーまたはすべての設定を工場出荷時の初期設定値に戻すことができます。

1 を選択します。

2 必要に応じて、設定のカテゴリーを選択します。

3  > リセットの順に選択します。

デバイス情報

E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示

1 設定メニューから、メニューの下部にスワイプします。

2 デバイス > 規制情報を選択します。

仕様

耐水性	IEC 60529 IPX7 ¹
動作温度範囲	-15 ~ 55°C (5 ~ 131°F)
充電温度範囲	0° ~ 45°C (32° ~ 113°F)
電源入力 (自動車用電源ケーブル、自動二輪車、または外部電源)	DC 12 ~ 24 V
バッテリータイプ	リチウムイオンバッテリー
バッテリー電圧範囲	3.5 ~ 4.1 V
ワイヤレス周波数と送信出力	2.4 GHz @ 17.6 dBm 最大 5.1 GHz @ 17.4 dBm 最大 5.2 GHz @ 21.3 dBm 最大
EU SAR	胴体 : 0.1 W/kg、四肢 : 0.17 W/kg

デバイスを充電する

注：このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。

以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- デバイスをマウントに取り付けて、マウントを車両電源に接続します。

注記

デバイスを車両電源ケーブルに直接接続しないでください。

- コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリにデバイスを接続します。家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの Garmin AC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

デバイスのメンテナンス

Garmin サポートセンター

製品マニュアル、よく寄せられる質問 (FAQ)、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.garmin.com を参照してください。

地図やソフトウェアの更新

最適なナビゲーションエクスペリエンスを得るには、デバイスの地図とソフトウェアを最新の状態に維持する必要があります。

地図の更新では、デバイスで使用している地図の道路や場所に関する利用可能な最新の変更が取得できます。地図を最新の状態に保つと、デバイスで最近追加された場所を見つけて、より正確なルートを計算することができます。地図の更新は大きいため、完了に数時間かかる可能性があります。

ソフトウェア更新では、デバイスの機能と操作の変更と改善が取得できます。ソフトウェア更新は小さく、数分間で完了します。

2つの方法を使用してデバイスを更新できます。

- デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続し、デバイス上で直接更新できます (推奨)。このオプションでは、デバイスをコンピュータに接続しないでタイミングよく更新できます。
- デバイスをコンピュータに接続し、Garmin Express アプリケーションを使用して更新できます (garmin.com/express)。

¹*このデバイスは水深 1 m に 30 分間耐えうる防水性能です。詳細については、www.garmin.com/waterrating を参照してください。

Wi-Fi ネットワークへの接続

デバイスの電源を初めてオンにすると、Wi-Fi ネットワークに接続してデバイスを登録するように求められます。設定メニューを使用して、Wi-Fi ネットワークに接続することもできます。

- 1  > Wi-Fi の順に選択します。
- 2 必要に応じて、Wi-Fi を選択して Wi-Fi 技術を有効にします。
- 3 ネットワークを検索を選択します。
デバイスで、近くの Wi-Fi ネットワークのリストが表示されます。
- 4 ネットワークを選択します。
- 5 必要に応じて、ネットワークのパスワードを入力し、完了を選択します。

デバイスがネットワークに接続し、ネットワークが保存済みネットワークのリストに追加されます。デバイスは、範囲内にあるときにこのネットワークに自動的に再接続します。

Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新

注記

地図やソフトウェアの更新では、デバイスで大きなファイルをダウンロードする必要がある場合があります。通常のデータ制限や料金がインターネットサービスプロバイダから適用されます。データ制限や料金の詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

インターネットへのアクセスを提供する Wi-Fi ネットワークにデバイスを接続することで、地図やソフトウェアを更新できます。これにより、デバイスをコンピュータに接続しないで最新の状態に保つことができます。

- 1 デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します ([Wi-Fi ネットワークへの接続, 50 ページ](#))。Wi-Fi ネットワークに接続中に、デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新を利用できる場合、 がメインメニューの  アイコンに表示されます。
- 2  > 更新を選択します。
デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新が利用可能な場合は、**更新が利用可能ですが地図またはソフトウェアの下に表示されます。**
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**を選択します。
 - ・ 地図の更新のみをインストールするには、**地図 > すべてインストール**の順に選択します。
 - ・ ソフトウェアの更新のみをインストールするには、**ソフトウェア > すべてインストール**の順に選択します。
- 4 使用許諾契約を読み、同意を選択して使用許諾契約に同意します。
注： 使用許諾契約に同意しない場合、拒否を選択できます。これにより、更新処理は停止します。使用許諾契約に同意するまで更新をインストールすることはできません。
- 5 付属の USB ケーブルを使用し、デバイスの外部電源に接続して継続 ([デバイスを充電する, 49 ページ](#))。最良の結果を得るには、出力が 2 A 以上の USB 充電器をお勧めします。スマートフォン、タブレット、またはポータブルメディアデバイス用の多くの USB 電源アダプタと互換性があります。
- 6 更新処理が完了するまで、デバイスを外部電源に接続したままにして Wi-Fi ネットワークの範囲内に維持します。

ヒント： 地図の更新が中断したり、完了する前にキャンセルされたりした場合、デバイスの地図データが失われることがあります。失われた地図データを修復するには、Wi-Fi または Garmin Express を使用して地図をもう一度更新する必要があります。

製品の更新

コンピュータで、Garmin Express (www.garmin.com/express) をインストールします。

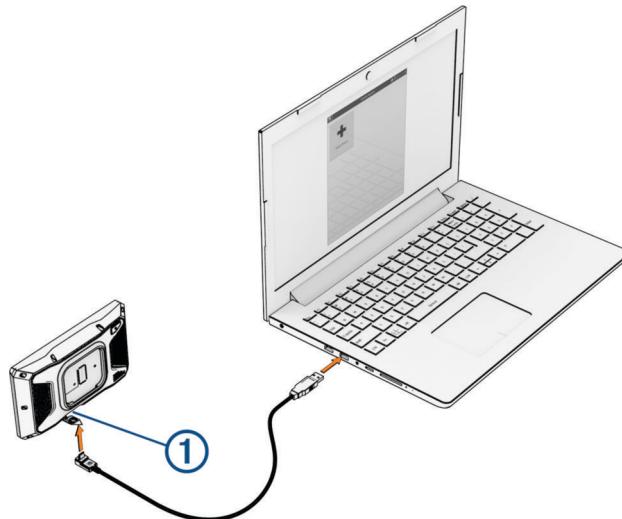
これにより、Garmin デバイス向けのこれらのサービスに簡単にアクセスできます。

- ・ ソフトウェアアップデート
- ・ 地図の更新
- ・ 製品登録

Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

Garmin Express アプリケーションを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェア更新をダウンロードしてインストールできます。

- 1 コンピュータに Garmin Express アプリケーションがインストールされていない場合は、garmin.com/express にアクセスし、画面に表示される指示に従ってインストールします。
- 2  Garmin Express アプリケーションを開きます。
- 3 USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。
ケーブルの小さい方の端は zūmo デバイスの USB ポート ① に接続し、大きい方の端はコンピュータで利用できる USB ポートに接続します。



- 4 zūmo デバイスでタップしてコンピュータに接続します。
- 5 Garmin Express アプリケーションで、デバイスの追加をクリックします。
Garmin Express アプリケーションはデバイスを検索し、デバイス名とシリアル番号を表示します。
- 6 デバイスの追加をクリックし、画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express アプリケーションに追加します。
セットアップが完了すると、Garmin Express アプリケーションにデバイスで利用できる更新が表示されます。



- 7 次の中からオプションを選択します。
- 利用可能なすべての更新をインストールするには、すべてインストールをクリックします。
 - 特定の更新をインストールするには、詳細の表示をクリックし、必要な更新の横にあるインストールをクリックします。
- Garmin Express アプリケーションがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。
- 注：地図の更新がデバイスの内部ストレージに対して大きすぎる場合は、ソフトウェアで、microSD デバイスにカードを挿入してストレージ領域を追加するように求めるメッセージが表示される場合があります（[地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する](#)、63 ページ）。
- 8 更新処理中は画面上の指示に従って、更新のインストールを完了します。
- たとえば、更新処理中、Garmin Express アプリケーションからデバイスを切断して再接続するように指示される場合があります。

デバイスのお手入れ

注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

外側ケースのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

- 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース（タッチスクリーン以外）を拭きます。
- デバイスの湿気を拭き取ります。

タッチスクリーンのクリーニング

- 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。
- 必要に応じて、布を軽く湿らせます。
- 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。
- 力を入れずに画面を布で拭きます。

デバイスを再起動する

デバイスが動作を停止した場合には、再起動できます。

電源キーを 12 秒間押し続けます。

デバイス、マウント、吸着力アップを取り外す

マウントからデバイスを取り外す

- マウントのつまみまたはボタンを押してすぐに離します。
- デバイスの上部を下に傾けて、デバイスをマウントから持ち上げます。

吸着力アップからマウントを取り外す

- デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- マウントのソケットから吸着力アップのボールが外れるまで力を掛けます。

フロントガラスから吸着力アップを取り外す

- 1 吸着力アップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着力アップのつまみを自分の方に引きます。

ヒューズケーブルのヒューズを交換する

注記

ヒューズを交換するときは、交換用ヒューズがヒューズハウジングに完全に挿入されていることを確認してください。車両電源ケーブルを誤って取り付けると、動作しません。

車両からデバイスに充電できない場合は、赤いシステム電源ケーブルにあるヒューズの交換が必要な場合があります。

- 1 ヒューズハウジングの上部からカバーを持ち上げます。
- 2 新しい 3 A ヒューズを挿入します。
- 3 ヒューズハウジングのカバーを取り付け直します。

トラブルシューティング

デバイスで衛星信号を受信できない

- GPS シミュレーターがオフになっていることを確認します ([ナビゲーション設定, 46 ページ](#))。
- 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離してください。
- 数分間静止したままにします。

充電しても電池の電力が長持ちしない

- 画面の輝度を下げます ([ディスプレイ設定, 47 ページ](#))。
- ディスプレイのタイムアウトを短くします ([ディスプレイ設定, 47 ページ](#))。
- 音量を下げます ([音量を調整する, 3 ページ](#))。
- 使用しないときは、Wi-Fi 無線をオフにします ([Wi-Fi 設定, 46 ページ](#))。
- 使用しないときは、デバイスを省電力モードにします ([デバイスの電源をオンまたはオフにする, 1 ページ](#))。
- デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

デバイスから緊急連絡先に連絡できません

△ 警告

このデバイスでは、緊急連絡先にユーザーの位置情報を送信することができます。これは補助的な機能のため、本機能に依存せず、万が一の事故に備えて他の連絡手段を用意してください。Tread アプリがユーザーに代わって救急医療機関等への連絡や救助の要請を行うことはありません。

緊急連絡先への連絡が行われていない場合は、以下の方法を試してください。

- zūmo ナビゲーターが、付属のマウントや USB ケーブルなどを使用して互換性のある外部電源に接続されていることを確認します ([取り付け, 4 ページ](#))。
- zūmo ナビゲーターが、Bluetooth ワイヤレス技術を使用してスマートフォンの Tread アプリに接続されていることを確認します ([スマートフォンとペアリングする, 28 ページ](#))。
- スマートフォンがデータ通信を利用できる環境にあることを確認します。
- zūmo ナビゲーターで自動事故検出機能と事故メッセージの送信機能が有効になっていることを確認します ([運転者支援の設定, 47 ページ](#))。
- スマートフォンの Tread アプリで緊急連絡先の設定が完了していることを確認します ([緊急連絡先を設定する, 9 ページ](#))。
- 事故の連絡先として登録されている端末がテキストメッセージまたはメールを受信できることを確認してください。

デバイスがスマートフォンに接続されません

-  > スマートフォンの順に選択し、スマートフォンがナビゲーターとペアリングされていることを確認します。
- スマートフォンで Bluetooth 無線の設定を有効にし、デバイスから 10 m (33 ft.) 以内の範囲にスマートフォンを移動します。
- お使いのスマートフォンが対応していることを確認します。
詳細については、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。
- ペアリングプロセスを再度完了します。
ペアリングプロセスを繰り返すには、電話とデバイスのペアリングを解除して (Bluetooth デバイスの取り外し, 31 ページ)、ペアリングプロセスを完了する必要があります ([スマートフォンとペアリングする, 28 ページ](#))。

吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 1 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。
- 2 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 3 吸盤を取り付けます ([自動車にデバイスを取り付ける, 55 ページ](#))。

使用しているデバイスは、コンピュータのポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、ボリュームのいずれとしても表示されません

- 1 コンピュータから USB ケーブルを取り外します。
- 2 デバイスの電源をオフにします。
- 3 USB ケーブルをデバイスおよびコンピュータの USB ポートに接続してください。

ヒント：USB ケーブルは、USB ハブではなく、コンピューターの USB ポートに接続する必要があります。

デバイスが自動的にオンになり、MTP モード、または USB 大容量記憶装置モードになります。コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

注：お使いのコンピュータで複数のネットワークドライブがマッピングされている場合、Windows®が Garmin ドライブにドライブレターを割り当てる際に不具合が生じている可能性があります。ドライブレターカットについての詳細は、オペレーティングシステムのヘルプファイルを参照してください。

付録

自動車にデバイスを取り付ける

△ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるので、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

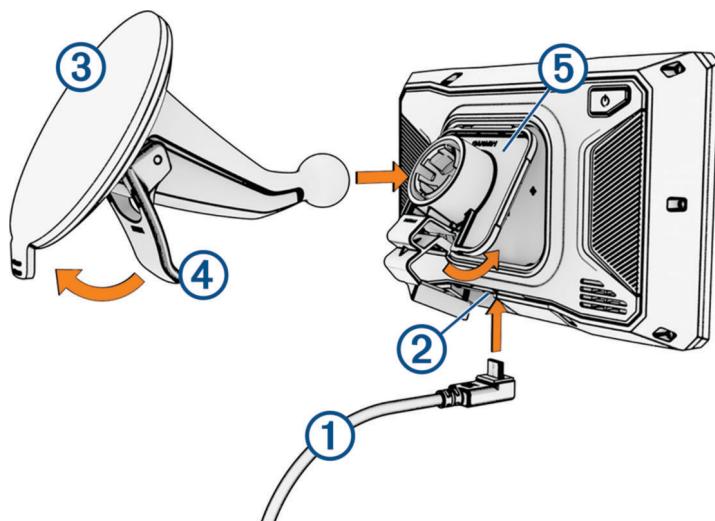
自動二輪車への取り付けに吸盤を使用しないでください。

注記

装置を取り付ける前に、フロントガラスへの取り付けに関する地域法を確認してください。

注：自動車マウントはオプションのアクセサリーです。別売アクセサリーを購入するには、garmin.com にアクセスしてください。

- 1 車両電源ケーブル ① をデバイスのポート ② に接続します。



- 2 吸盤 ③ から透明のプラスチックを取り外します。
- 3 フロントガラスと吸盤の汚れを、柔らかい布で拭き取り乾かします。
- 4 吸盤をフロントガラスに押し付け、レバー ④ をフロントガラスの方に倒します。
- 5 クレードル ⑤ を吸盤アームにはめ込みます。
- 6 デバイスの上部をクレードルに合わせます。
- 7 デバイスをクレードルにカチッと音がするまで押し込みます。
- 8 車両の電源ケーブルの反対側の端を、電源コンセントに接続します。

Garmin PowerSwitch

△ 警告

Garmin 装置の設置は、電気機器に関する適切な知識を持った、経験豊富な技術者が行うことを強くお勧めします。電源ケーブルの配線を誤ると、車両やバッテリーを破損し、怪我の原因になる可能性があります。

接続された Garmin PowerSwitch デバイスを使用すると、zūmo デバイスから照明、ファンなどを制御できます。

取り付けに関する注意事項

- ・ デバイスは、バッテリーの近くでかつ付属の電源ケーブルの範囲内に取り付ける必要があります。
- ・ 取り付け面は、デバイスの重量を支えるのに十分な強度が必要です。
- ・ 取り付ける場所には、すべてのケーブルの配線と接続のために十分な空間が必要です。

デバイスの取り付け

デバイスを取り付ける前に取り付け位置を選択し、取り付け面に適したハードウェアを購入する必要があります。

注記

車両にパイロット穴を開け、マウントを取り付けるときには、ワイヤ、計器、エアバッグ、エアバッグカバー、HVACなどは避けてください。Garminは、取り付けによって生じた損害や結果については一切責任を負いません。

- 選択した場所にマウントを配置します。



- マウントをテンプレートとして使用し、2箇所のネジ位置①に印を付けます。
- パイロットホールを開けます（オプション）
一部のタイプの取り付け材質では、パイロットホールをドリルで開ける必要があります。マウント越しにドリルを使わないでください。
- 取り付け面に適したハードウェアを使用して、マウントを表面にしっかりと固定します。

前面カバーを開く

電気接続を行うには、前面カバーを開く必要があります。

- 1 前面カバーラッチ①を持ち上げ、反時計回りに回します。



- 2 前面カバーをデバイスから引き出します。



アクセサリーの接続

注記

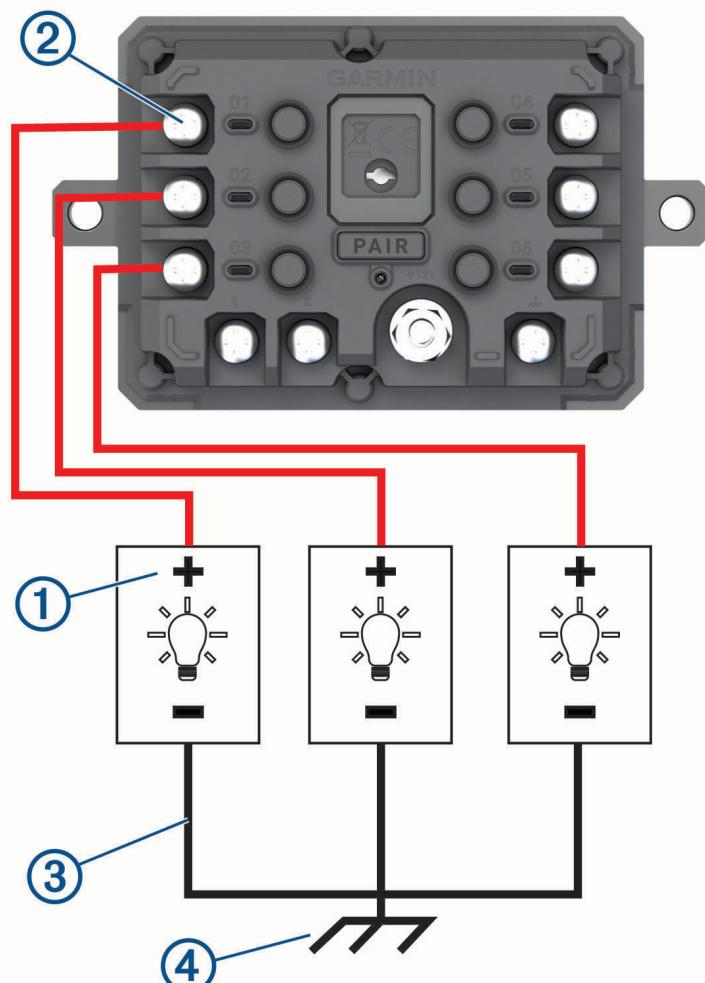
ウインチの制御や電源供給にデバイスを使用しないでください。この注記に従わないと、車両またはデバイスが損傷することがあります。

電源をアクセサリー出力端子に接続しないでください。この注記に従わないと、車両またはデバイスが損傷することがあります。

アクセサリーの要件

- Garmin PowerSwitch デバイスに配線する前に、各アクセサリーの定格アンペアを確認してください。このデバイスは、各チャンネルで最大 30 A、システム全体で最大 100 A のアクセサリーに対応しています。
- 20 ~ 30 A を使用するアクセサリーには、10 AWG (6 mm²) の配線を使用します。
- 10 ~ 20 A を使用するアクセサリーには、12 AWG (4 mm²) の配線を使用します。
- 10 A 未満を使用するアクセサリーには、14 AWG (2.5 mm²) の配線を使用します。
- すべてのアクセサリー接続には適切なサイズの端子を使用します。
- すべての端子コネクターをしっかりと圧着します。

- 1 アクセサリー ① のプラス線を Garmin PowerSwitch デバイスのアクセサリー端子 ② のいずれかに接続します。



- 2 マイナス線またはアース線 ③ を車両フレームの塗装されていないアーススタッド ④ に、アース供給ブロックに、またはバッテリーのマイナス端子に直接接続します。

△ 注意

アクセサリーアース線を Garmin PowerSwitch デバイスのアース端子 (GND) に接続しないでください。接続すると、人的損害や物的損害が発生したり、デバイスの機能に悪影響を及ぼすことがあります。

3 すべての電気接続がしっかりと締め付けられていることを確認し、使用中に緩まないようにしてください。

制御入力の接続

制御端末に接続して Garmin PowerSwitch デバイスを有効にすると、カスタマイズ可能な出力をオンにできます。たとえば、車両のイグニッションスイッチを制御入力端子に接続すると、車両を始動するたびにアクセサリーを自動的にオンすることができます。制御端子は、3.3 V ~ 18 V の信号を検出します。Garmin PowerSwitch アプリを使用して出力機能を構成できます。

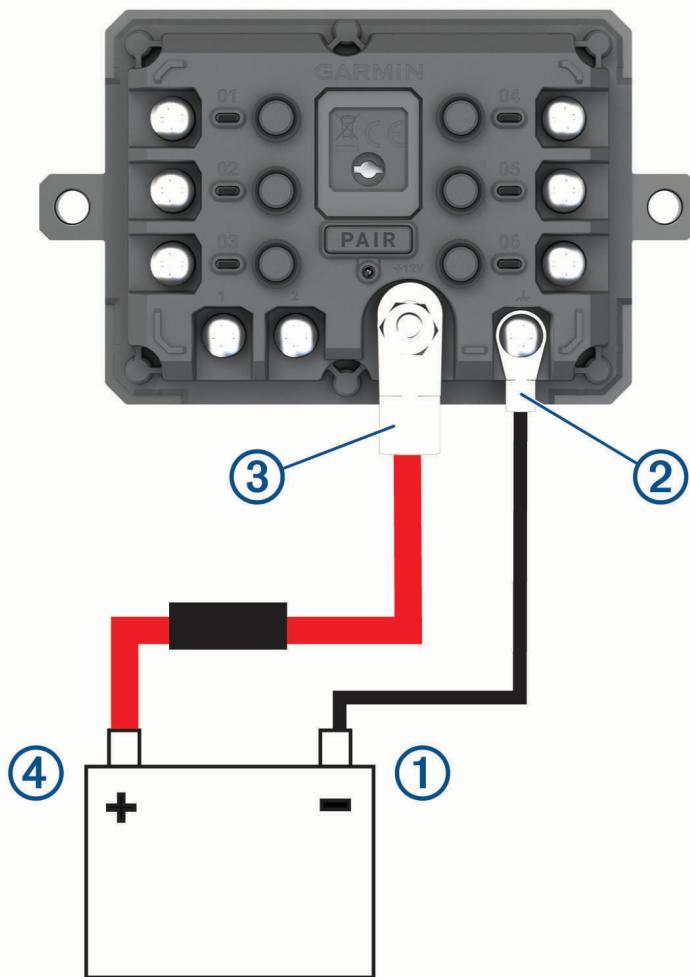
車両の制御ソースからの制御線を Garmin PowerSwitch デバイスの 2 つの制御端子のいずれかに接続します。

デバイスを車両電源に接続する

デバイスを車両の電源に接続する前に、デバイスの +12V 端子から警告タグを取り外す必要があります。

すべての電気接続が確実に固定され、デバイスの操作中に緩まないことを必ず確認してください。

1 同梱されているアース線 ① の大きいリング側を車両バッテリーのマイナス端子に接続します。



2 アース線の小さいリング側をデバイスの GND 端子 ② に接続します。

3 付属の 12V ケーブルの小さいリング側をデバイスの +12V 端子 ③ に接続します。

- 4 +12V 端子の $\frac{3}{8}$ in. ナットを最大トルク仕様 4.52 N·m (40 lbf-in.) で締め付けます。
ナットは手で緩めることができないことを確認する必要があります。

注記

端子の損傷を防ぐため、+12V 端子を締めすぎないでください。

- 5 12V ケーブル ④ の大きいリング側を車両バッテリーのプラス端子に接続します。

Garmin ナビゲーションデバイスとのペアリング

Garmin PowerSwitch デバイスを互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングできます。

1 Garmin PowerSwitch デバイスの電源を入れ、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスをデバイスから 1 m (3.3 ft.) 以内に配置します。

2 互換性のあるナビゲーションデバイスで、Garmin PowerSwitch アプリを開きます。

3 画面上の指示に従って、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。

メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

Garmin PowerSwitch 仕様

寸法 (奥行き × 幅 × 高さ)	75 × 125 × 32 mm (2.95 × 4.92 × 1.26 in.)
動作温度範囲	-25° ~ 85°C (-13° ~ 185°F)
無線周波数	2.4 GHz @ 10 dBm
電源入力	付属の車両電源ケーブルを使用して 12 ~ 16 V。
最大アクセサリ出力	30 A
最大システム出力	100 A
すべての出力をオフにした状態での電流引き込み	3 mA
防水等級	IEC 60529 IPX7 ²

自分の Garmin PowerSwitch が接続したままになりません

- Garmin PowerSwitch デバイスが受電していることを確認します。
- ペアリングしたナビゲーションデバイスまたはスマートフォンで Bluetooth テクノロジーが有効になっていることを確認します。
- ナビゲーションデバイスまたはスマートフォンをご自分の Garmin PowerSwitch デバイスに近づけます。
- 車両のバッテリーが 12 V 以上の電力を供給していることを確認します。

供給電力が 11 V 未満の場合、車両のバッテリーを保持するため、Garmin PowerSwitch デバイスはすべての出力を自動的にオフにします ([アクセサリに電力が供給されていません](#), 61 ページ)。

²*このデバイスは水深 1 m に 30 分間耐えうる防水性能です。詳細については、www.garmin.com/waterrating を参照してください。

アクセサリに電力が供給されていません

- Garmin PowerSwitch デバイスが車両バッテリーから電力を供給されていることを確認します。
- 車両のバッテリーが 12 V 以上の電力を供給していることを確認します。
11 V 未満の電力を受信している場合、Garmin PowerSwitch デバイスはすべての出力を自動的にオフにして、車両のバッテリーを保持します。出力は、デバイスが 12 V を超える電力を検出するとオンに戻ります。
- 全ての電気接続が確実に固定されていることを確認し、走行中に緩むことがないようにします。
- 接続されている各アクセサリーの消費電力が 30 A 未満であることを確認します。
アクセサリーの消費電力が 30 A を超えると、デバイスはその出力を自動的にオフにします。
- システム全体の消費電力が 100 A 未満であることを確認します。
100 A を超えるシステムの消費電力を検出すると、すべての出力が自動的にオフになります。
- すべての電気接続に短絡がないか点検します。

ワイヤレスカメラ

接続された 1 台以上のワイヤレスカメラ（別売）からのビデオフィードを表示できます。

カメラと Garmin ナビゲーションデバイスをペアリングする

互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとカメラをペアリングできます。互換性のある Garmin デバイスの詳細については、garmin.com/bc40 の製品ページを参照してください。

- ナビゲーションデバイスを最新のソフトウェアに更新します。
デバイスは最新のソフトウェアがインストールされていない BC 40 カメラをサポートしない場合があります。ソフトウェアの更新について詳しくは、ナビゲーションデバイスのマニュアルを参照してください。
- バッテリーをカメラに取り付けます。
カメラは自動的にペアリングモードになり、カメラがペアリングモードになっている間は LED が青色に点滅します。カメラは 2 分間ペアリングモードのままであります。ペアリングモードが中断された場合は、バッテリーを取り外してから再度取り付けます。
- 互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスを車外に出し、カメラから 1.5 m (5 ft.) 以内に置き、ナビゲーションデバイスをオンにします。
カメラが自動的に検出され、ペアリングするように指示されます。
- はいを選択します。
ヒント：ナビゲーションデバイスがカメラを自動的に検出しない場合は、⚙️ > ワイヤレスカメラ > 新しいカメラの追加の順に選択し、手動でペアリングできます。
デバイスがカメラとペアリングされます。
- カメラの名前を入力します（オプション）。
カメラの場所を明確に特定するわかりやすい名前を使用してください。
- 完了を選択します。

BC™ 50 カメラと Garmin ナビゲーションデバイスのペアリング

BC 50 カメラは、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングできます。デバイスの互換性について詳しくは、garmin.com/bc50 を参照してください。

- ナビゲーションデバイスを最新のソフトウェアに更新します。
お使いのデバイスは、最新のソフトウェアがないと、BC 50 カメラをサポートしない場合があります。デバイスソフトウェアの更新の詳細については、ナビゲーションデバイスの操作マニュアルを参照してください。
- ⚙️ > ワイヤレスカメラ > 新しいカメラの追加の順に選択します。
- 画面の指示に従って、カメラのペアリングと設定を完了します。
カメラとのペアリングプロセスを初めて完了した後、電源を入れると、Garmin ナビゲーションデバイスに自動的に接続されます。

ワイヤレスカメラの表示

⚠️ 警告

このデバイスの目的は、適切な使用時に、状況を認識する能力を高めることです。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。注意散漫にならないように、車両が動いているときはディスプレイを注視しないようにしてください。

■> ワイヤレスカメラの順に選択します。

ガイダンスラインの位置合わせ

最良の基準点を得るには、車両の外端が反映されるようにガイダンスラインを合わせる必要があります。バックアップカメラごとに、ガイダンスラインを個別に合わせる必要があります。一部のモデルでは、カメラをペアリングした後に自動的に調整が可能になります。

⚠️ 警告

デバイスを使用する前、およびカメラの角度を調整した後は、ガイダンスラインが適切に位置合わせされていることを確認する必要があります。ガイダンスラインの位置を適切に合わせないと、事故や衝突が発生し、死亡、重傷、物的損害につながるおそれがあります。

1 車両の片側を縁石、私道、または駐車場区画線の近くに車両を配置してください。

駐車場区画の中央に車両を配置し、次の区画まで寄せることができます。これにより、車両後部の駐車場区画線を位置合わせの基準点として使用できます。

縁石、私道、または駐車場区画線がデバイス上ではっきりと見えるようにします。

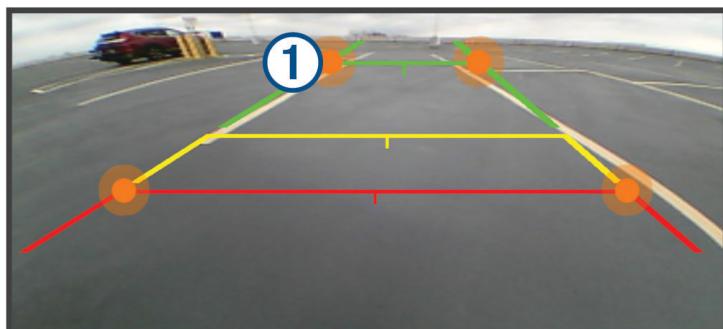
2 次の中からオプションを選択します。

- ・ カメラビューで、画面をタップして、/≡\を選択します。
- ・ カメラビューから、≡>ビデオを調整するの順に選択します。

3 ガイダンスライン①の隅にある円をドラッグするか、縁石、私道、駐車場区画線の角度と位置が一致するまで矢印をタップします。

ガイダンスラインは、基準点の上に直接表示されます。

ガイダンスラインの赤色またはオレンジ色の部分が車両の後部に揃うようにします。



4 必要に応じて、反対側を縁石、私道、または駐車場区画線に近づけて車両の位置を調整し、位置合わせプロセスを繰り返します。

車両が縁石、私道、または駐車場区画線と完全に一致していない場合でも、ガイダンスラインを対称に保つようにしてください。

5 位置合わせが完了したら、✓を選択します。

地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する

メモリーカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリーカードは家電販売店で購入できます。このデバイスは、4~256 GB の microSD メモリーカードに対応しています。メモリーカードは FAT32 ファイルシステムフォーマットを使用している必要があります。

- 1 デバイス上の地図とデータメモリーカードスロットの位置を確認します ([デバイスの概要, 1 ページ](#))。
- 2 メモリカードをスロットに挿入します。
- 3 カチッと音がするまで押し込んでください。

データ管理

デバイスには、データストレージを追加できるメモリーカードスロットがあります。

注：このデバイスは Windows 7 以降、および Mac® OS 10.7 以降に対応しています。

メモリーカードについて

家電販売店からメモリカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア (www.garmin.com) を購入できます。メモリカードを使用すると、地図や POI などのファイルを保存できます。

デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。
- 3 zūmo デバイスでタップしてコンピュータに接続しますを選択します。

コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

コンピュータから GPX ファイルを転送する

Apple®コンピュータでは、このデバイスでファイルを読み書きするために、Android File Transfer などの追加のサードパーティソフトウェアが必要になる場合があります。

デバイスで使用するルートをすでに作成している場合は、GPX ファイルをコンピュータから直接転送できます。

- 1 デバイスをコンピュータに接続します ([デバイスをコンピュータに接続する, 63 ページ](#))。
- 2 デバイスはポータブルデバイスとして表示されます。
- 3 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 4 [編集] > [コピー] の順に選択します。
- 5 デバイス上の GPX フォルダを参照します。
- 6 [編集] > [貼り付け] の順に選択します。

コンピュータからデータを転送する

- 1 デバイスをコンピュータに接続します ([デバイスをコンピュータに接続する, 63 ページ](#))。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 [編集] > [コピー] の順に選択します。
- 5 デバイス上のフォルダを参照します。
- 注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。
- 6 [編集] > [貼り付け] の順に選択します。

USB ケーブルを取り外す

デバイスがリムーバブルドライブまたはボリュームとしてコンピュータに接続されている場合、データの損失を避けるため、デバイスをコンピュータから安全に取り外す必要があります。デバイスがポータブルデバイスとして Windows コンピュータに接続されている場合は、そのデバイスを安全に取り外す必要はありません。

1 次の手順を実行します。

- Windows コンピュータの場合、システムトレイの [ハードウェアの安全な取り外し] アイコンを選択し、デバイスを選択します。
- Apple コンピュータでデバイスを選択し、[ファイル] > [取り出す] を選択します。

2 コンピュータからケーブルを取り外します。

Garmin Explore への BaseCamp™ データの追加

BaseCamp データファイルをエクスポートし、Garmin Explore にインポートして、zūmo デバイスで使用できます。

1 BaseCamp からのデータのエクスポート :

- Apple コンピュータを使用している場合は、[Apple コンピュータを使用して BaseCamp からデータをエクスポートする](#), 64 ページを参照してください。
- PC を使用している場合は、[PC を使用して BaseCamp からデータをエクスポートする](#), 64 ページを参照してください。

2 BaseCamp データを Garmin Explore ウェブサイトにインポートします ([Garmin Explore にデータをインポートする](#), 64 ページ)。

3 Garmin Explore データを zūmo デバイスと同期します ([Garmin Explore アカウントデータの同期](#), 19 ページ)。

PC を使用して BaseCamp からデータをエクスポートする

1 次の中からオプションを選択します。

- コンピュータに格納されているすべての BaseCamp データをエクスポートするには、マイコレクションファイル > エクスポート > 'マイコレクション' のエクスポートを選択します。
- 1 つまたは複数のアイテムまたはリストをエクスポートするには、1 つまたは複数のアイテムまたはリストを選択し、ファイル > エクスポート > 選択範囲のエクスポートを選択します。

2 名前を入力し、エクスポートするファイルのエクスポート先とファイル形式を選択し、保存を選択します。

Apple コンピュータを使用して BaseCamp からデータをエクスポートする

1 次の中からオプションを選択します。

- コンピュータに格納されているすべての BaseCamp データをエクスポートするには、マイコレクションファイル > 'マイコレクション' のエクスポートを選択します。
- 1 つまたは複数のアイテムまたはリストをエクスポートするには、1 つまたは複数のアイテムまたはリストを選択し、ファイル > 選択したユーザーデータのエクスポートを選択します。

2 名前を入力します。

3 エクスポートされるファイルの場所を選択します。

4 ファイル形式を選択します。

5 エクスポートを選択します。

Garmin Explore にデータをインポートする

1 explore.garmin.com にアクセスし、アカウントにログインします。

2 地図タブを選択します。

3 を選択します。

4 画面に表示される手順に従います。

データは、Tread アプリと zūmo デバイスに自動的に同期されます。

GPS 信号ステータスを表示する

を 3 秒間押し続けます。

追加の地図を購入する

- 1 [garmin.com](#) のデバイス製品ページにアクセスします。
- 2 地図タブをクリックします。
- 3 画面に表示される手順に従います。

support.garmin.com